

3. 実証実験結果

3-1 運行データ集計結果

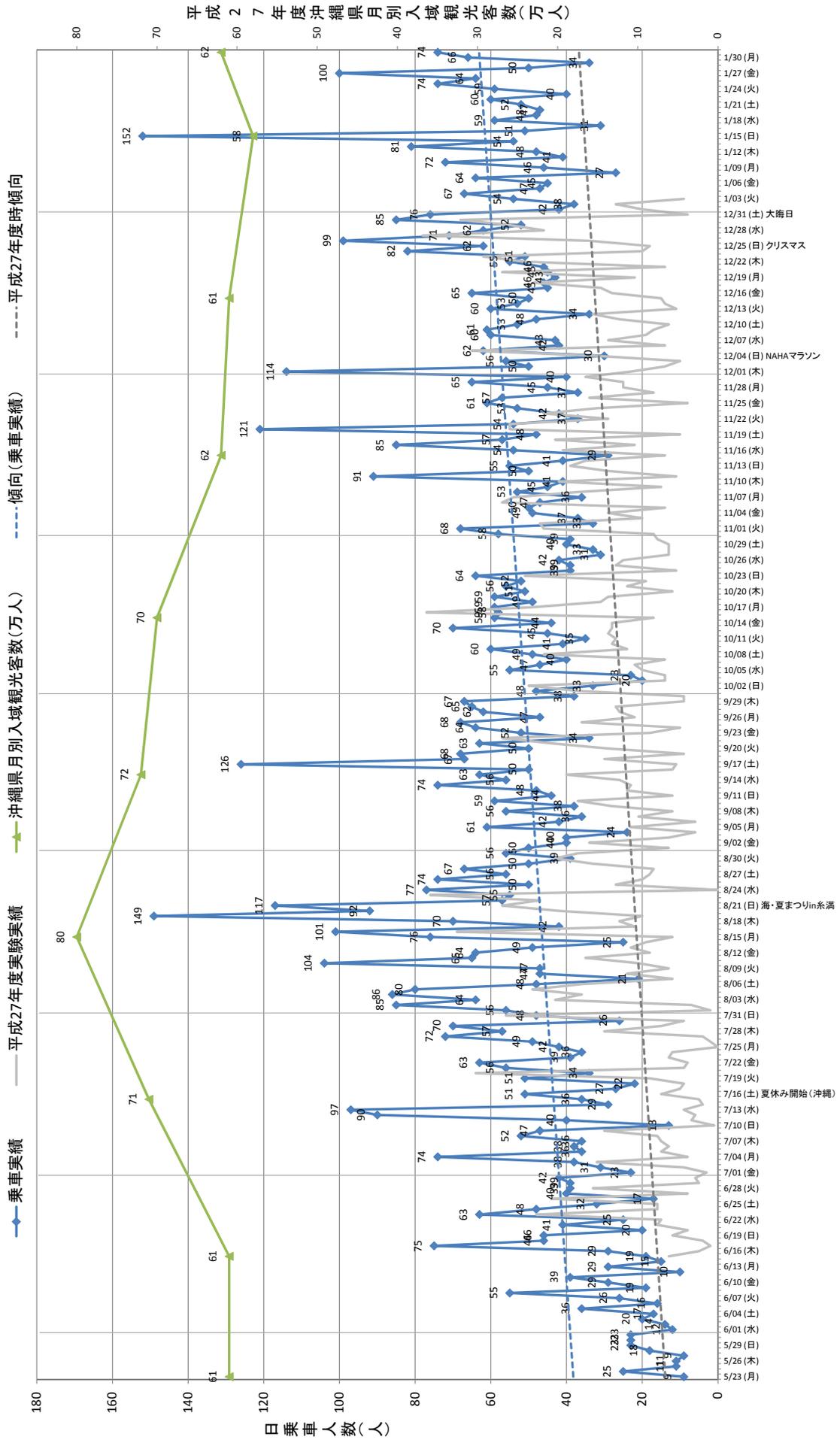
予約管理システム（コンビニクル）における運行履歴データ及び運行业務委託先からの実績報告を基に利用状況を集計し、平成 27 年度実証実験と比較した結果を下記に整理する。

3-1-1 基本集計

集計項目	平成 27 年度	平成 28 年度
①運行日数実績	202 日間	増 125% → 254 日間
②累計予約件数	延べ 3,204 件	増 300% → 延べ 9,620 件
③累計乗車人数	延べ 5,092 人	増 252% → 延べ 12,861 人
④平均日予約件数	15 件/日 6月：8件/日 10月：18件/日 7月：9件/日 11月：21件/日 8月：15件/日 12月：20件/日 9月：14件/日 1月：10件/日	37 件/日 5月：14件/日 10月：38件/日 6月：24件/日 11月：41件/日 7月：33件/日 12月：46件/日 8月：43件/日 1月：43件/日 9月：41件/日
⑤平均日乗車人数	25 人/日 6月：15人/日 10月：26人/日 7月：14人/日 11月：32人/日 8月：30人/日 12月：31人/日 9月：22人/日 1月：18人/日	増 200% → 50 人/日 5月：17人/日 10月：46人/日 6月：32人/日 11月：53人/日 7月：46人/日 12月：58人/日 8月：67人/日 1月：57人/日 9月：55人/日
⑥平均運賃収入	6,325 円/日 6月：5,100円/日 10月：6,900円/日 7月：3,723円/日 11月：8,308円/日 8月：6,680円/日 12月：7,325円/日 9月：5,870円/日 1月：4,683円/日	増 209% → 13,244 円/日 5月：4,389円/日 10月：12,602円/日 6月：8,707円/日 11月：14,633円/日 7月：11,908円/日 12月：16,210円/日 8月：15,562円/日 1月：14,855円/日 9月：13,970円/日
⑦運行経費	総収入：1,277,770 円 総経費：26,307,672 円 (130,236 円/日)	増 263% → 総収入：3,364,012 円 増 129% → 総経費：33,952,180 円 (133,670 円/日)
⑧収支率	4.9%	増 202% → 9.9%
⑨最大日乗車人数	78 人/日 (12月27日)	152 人/日 (1月15日)
⑩最小日乗車人数	0 人/日 (7月25日台風12号影響)	9 人/日 (5月23日、29日)
⑪一日乗車券販売数	480 枚 大人 1,000 円：446 枚 子供 500 円：34 枚	566 枚 大人 1,000 円：485 枚 子供 500 円：81 枚
⑫乗合発生件数	468 件/3,204 件 乗合発生割合 14%	1,828 件/9,620 件 乗合発生割合 19%

3-1-2 日乗車人数の推移

いとちゃんmini 日乗車人数の推移



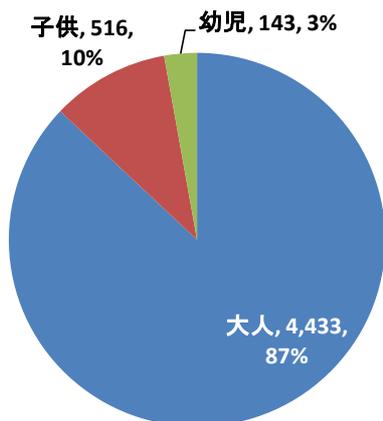
3-1-3 乗降者調査

いとちゃん mini 利用者の乗降実態を、予約システム（コンビニクル）の全記録データを用いて集計作業を行った。

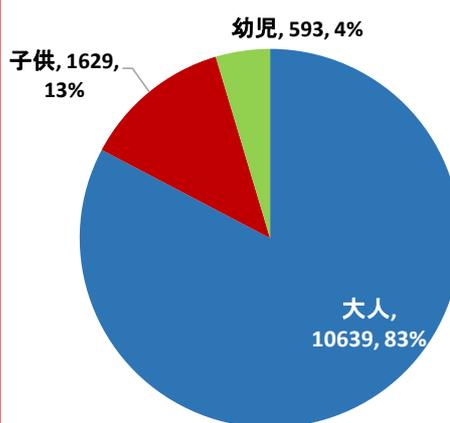
① 乗車人数割合（大人・子供・幼児別） ※運転手を除き（大人であれば9人、5歳未満は最大12名まで乗車可能）

いとちゃんバスを含む他の公共交通とは異なっており、いとちゃん mini では中学生まで子供とする運賃区分を用いているものの、比較的孩子・幼児の割合が高い傾向となっている。（参考：県内の他公共交通（バス・モノレール）では子供（小学生）の割合は概ね7%とされている）

【平成 27 年度 合計：5,092 人】



【平成 28 年度 合計：12,861 人】

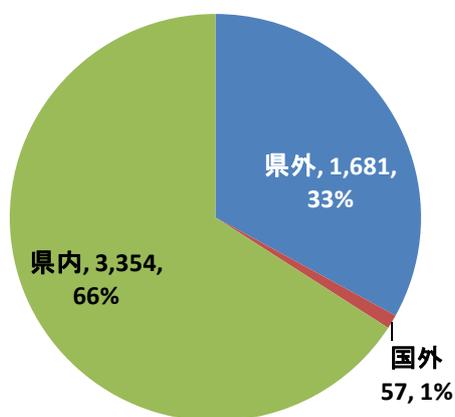


② 延べ乗車人数割合（県内外別）

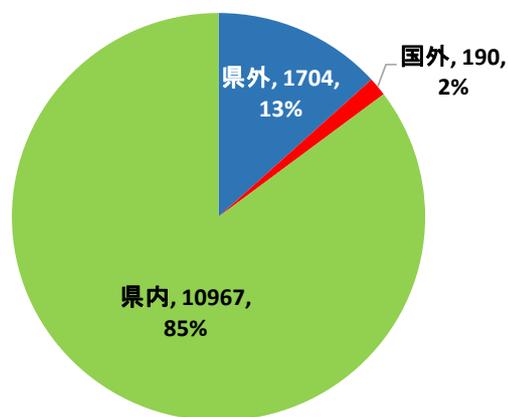
平成 27 年度は県外観光客による利用割合が 30%を超えていたが、平成 28 年度は市民利用の増加により、県外観光客は 13%となっている。また 1~2%と少数であるが、外国人にも利用されている。市内で最も観光利用されている既存路線バス玉泉洞糸満線の観光客乗車割合が約 11%（H25 沖縄県調べ）である事から、いとちゃん mini は多くの観光客に活用されていると言える。

注意：県内外別の集計は予約氏名（苗字）及び乗降バス停による主観的な分類による結果であり、県内他市町村からの観光客や氏名不明者などは「県内」に含まれている。

【平成 27 年度 合計：5,092 人】



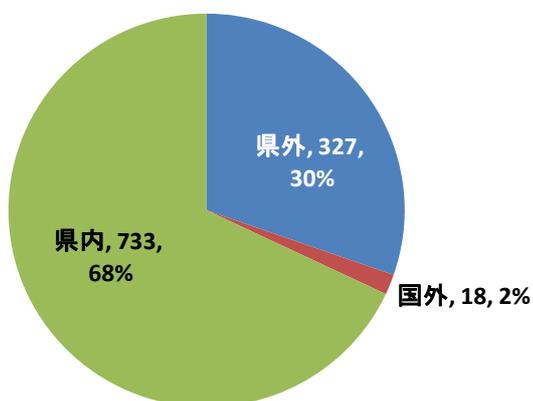
【平成 28 年度 合計：12,861 人】



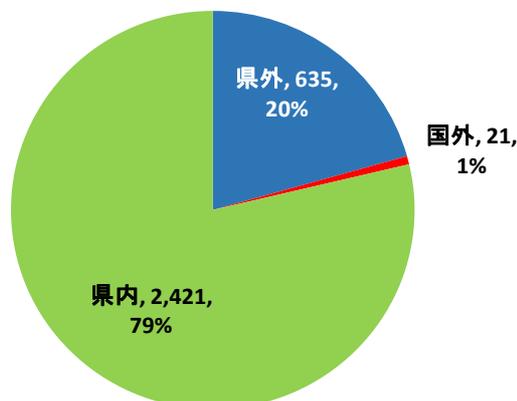
③ 正味乗車人数割合（県内外別）

予約時の氏名及び連絡先（電話番号）を基に、個人を特定した正味乗車人数の割合では、県外観光客割合が20%に対し県内利用者が79%と多くを占めている。この結果と②延べ乗車人数割合を比較すると、平成28年度は県内の利用者が複数回利用していたことが推察される。

【平成27年度 合計：1,270人】



【平成28年度 合計：3,077人】



④ 地区別乗降者数

両年度共に、乗降者の総数では三和地区が最も多いものの、地区毎のバス停数で除した1バス停あたりの乗降者数では西崎地区が最も多い傾向である。

【平成27年度】

単位：人

	乗車人数	降車人数	合計	バス停数	1バス停あたり
西崎地区	1,285	1,320	2,605	7	372
糸満地区	821	786	1,607	4	402
高嶺地区	463	541	1,004	23	44
三和地区	2,523	2,445	4,968	46	108
総計	5,092	5,092	10,184	80	127

【平成28年度】

単位：人

	乗車人数	降車人数	合計	バス停数	1バス停あたり
兼城地区	2,763	2,806	5,569	36	155
西崎地区	2,595	2,748	5,343	20	267
糸満地区	2,138	2,312	4,450	21	212
高嶺地区	1,597	1,545	3,142	28	112
三和地区	3,768	3,450	7,218	52	139
総計	12,861	12,861	25,722	157	164

⑤ 地区別往来人数

両年度共に、三和地区を中心に西崎・糸満地区との往来が多い傾向となった。平成 28 年度からエリアを拡大した兼城地区も三和地区と西崎地区との往来が多くみられる。

【平成 27 年度】

単位：人

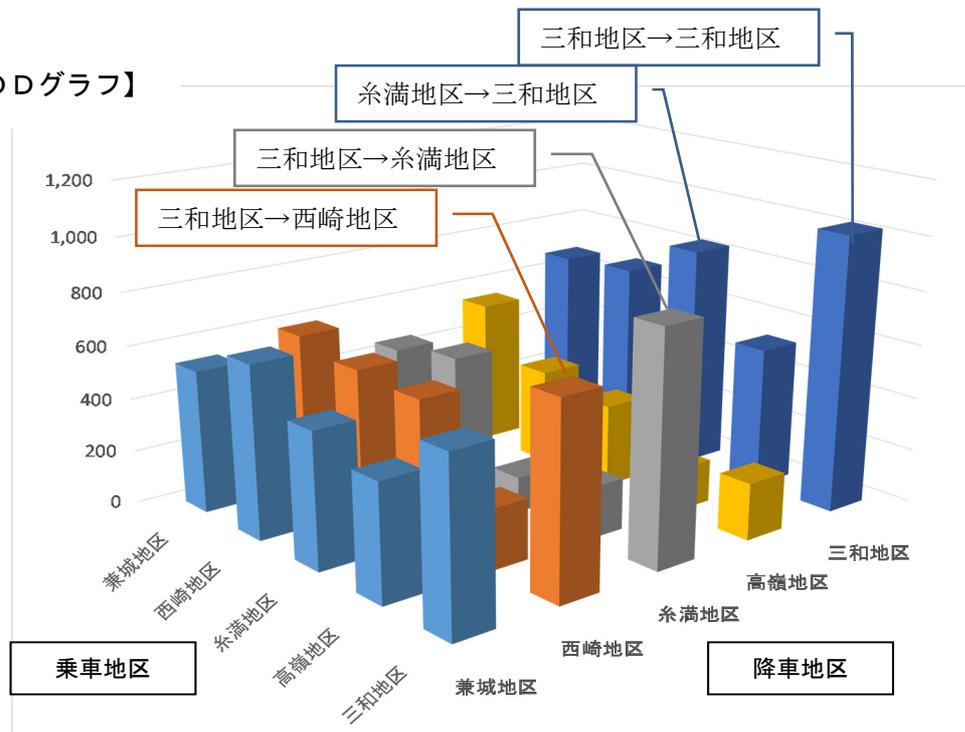
		降車地区				総計
		西崎地区	糸満地区	高嶺地区	三和地区	
乗車地区	西崎地区	256	135	176	718	1,285
	糸満地区	173	24	81	543	821
	高嶺地区	161	106	75	121	463
	三和地区	730	521	209	1,063	2,523
総計		1,320	786	541	2,445	5,092

【平成 28 年度】

単位：人

		降車地区					総計
		兼城地区	西崎地区	糸満地区	高嶺地区	三和地区	
乗車地区	兼城地区	537	649	507	435	635	2,763
	西崎地区	589	543	524	226	713	2,595
	糸満地区	452	501	132	192	861	2,138
	高嶺地区	551	360	312	161	213	1,597
	三和地区	677	695	837	531	1,028	3,768
総計		2,806	2,748	2,312	1,545	3,450	12,861

【ODグラフ】



⑥ バス乗降者数一覧（県内外別）

【平成 28 年度】

単位：人

バス停	県外	国外	県内	総数
サンエーしおざきシティ(潮崎町2丁目)	20	0	2,107	2,127
道の駅いとまん前(西崎町4丁目)	281	15	1,228	1,524
サザンビーチホテル前(西崎町1丁目)	144	16	619	779
平和祈念公園(字摩文仁)	219	16	480	715
ファミリーマート西崎六丁目店(西崎6丁目)	4	1	659	664
サンプラザいとまん(字兼城)	11	0	612	623
ひめゆりの塔前(字伊原)	232	1	379	612
ファミリーマート西崎沖水前店(西崎1丁目)	3	0	607	610
糸満市役所(潮崎町1丁目)	11	0	548	559
丸大糸満店(字阿波根)	26	1	529	556
南山病院(字賀数)	0	0	530	530
喜屋武岬(字喜屋武)	174	12	309	495
真壁コミュニティセンター(字真壁)	42	0	436	478
琉球ガラス村(字福地)	94	0	372	466
座波公民館(字座波)	1	0	437	438
ファミリーマート糸満浜川団地前店(字潮平)	9	2	426	437
ドラッグイレブン糸満潮平店(字潮平)	1	0	425	426
南波平(字南波平)	1	0	403	404
ホテルスポーツロッジ糸満(西崎町3丁目)	24	0	374	398
具志川城跡(字喜屋武)	147	10	226	383
南山城跡前(字大里)	9	0	348	357
阿波根(字潮平)	4	0	308	312
ガタ原集会所(字真栄里)	0	0	308	308
糸満バスターミナル(字糸満)	90	2	215	307
糸満市場入口(字糸満)	25	2	278	305
南部病院正面玄関(字真栄里)	0	0	290	290
晴明病院(字大度)	1	0	276	277
糸洲農事集会所(字糸洲)	1	0	274	275
うちなーファーム(糸満市観光農園)(字摩文仁)	33	5	226	264
束辺名(字束里)	2	0	248	250
イオン武富店(字武富)	6	2	240	248
西崎病院(字座波)	4	0	236	240
高嶺郵便局(字大里)	8	0	231	239
糸満市立中央図書館(字真栄里)	0	0	232	232
ファミリーマート西崎運動公園前店(西崎2丁目)	3	0	218	221
照屋公民館(字照屋)	4	0	212	216
阿波根西原集会所(字阿波根)	2	0	210	212
サンサンキッチン前(西崎町4丁目)	0	0	201	201
真栄平公民館(字真栄平)	2	0	199	201
ファミリーマート糸満小学校前店(字糸満)	0	0	200	200
喜屋武(字喜屋武)	9	0	189	198
農村環境改善センター(字照屋)	3	0	190	193
大里公民館(字大里)	0	0	190	190
ローソン糸満真栄里団地前店(字真栄里)	4	0	177	181
大度浜海岸(字大度)	37	2	131	170
糸満ロータリー(字糸満)	17	5	147	169
与座(字与座)	1	0	168	169
高嶺団地(字大里)	3	0	165	168
ひめゆりクリニック(字伊原)	0	0	167	167
潮平西原公園(字潮平)	0	0	159	159
糸満郵便局前(字真栄里)	5	0	152	157
西崎小学校前(西崎2丁目)	1	0	150	151
美々ビーチ(西崎町1丁目)	18	0	128	146
白銀堂前(字糸満)	6	0	135	141
大度(字大度)	27	0	107	134
ローソン沖縄水産高校前店(字兼城)	2	0	127	129
沖縄菩提樹苑前(字米須)	54	0	72	126

前ページからの続き

単位：人

ローソン糸満与座店(字与座)	1	0	123	124
新垣(西)(字新垣)	0	0	123	123
兼城ハイツ集会所(字兼城)	0	0	114	114
社会福祉センター前(字真栄里)	0	0	112	112
糸満漁港北区セリ市場(西崎町1丁目)	2	0	106	108
まつの木通り(字糸満)	3	0	104	107
米須コミュニティセンター(字米須)	1	0	105	106
米須団地(字米須)	0	0	106	106
願寿館(西崎町3丁目)	0	0	102	102
小波蔵(南)(字小波蔵)	25	0	73	98
潮平公民館(字潮平)	2	0	95	97
賀数コミュニティセンター(字賀数)	0	0	95	95
西崎1丁目集会所(西崎1丁目)	1	0	94	95
さつきの城自治会館(字大度)	0	0	94	94
小波蔵(字小波蔵)	0	0	94	94
親田原団地(字糸満)	1	0	92	93
喜屋武(西)(字喜屋武)	0	0	91	91
ファミリーマート糸満米須店(字米須)	3	0	85	88
喜屋武小学校前(字喜屋武)	0	0	88	88
伊敷(字伊敷)	0	0	87	87
真栄平(東)(字真栄平)	0	0	84	84
与座川(字与座)	5	0	79	84
西崎運動公園前(西崎町3丁目)	6	0	74	80
ファミリーマート糸満武富店(字武富)	2	0	76	78
南浜公園(潮崎町4丁目)	5	2	71	78
真栄里(字真栄里)	3	0	73	76
山城集落センター(字山城)	0	0	74	74
米須入口(字米須)	0	0	71	71
ワークステーション夢工房(字北波平)	0	0	66	66
潮平小学校南入口(字潮平)	1	1	63	65
生涯学習支援センター(字糸満)	0	0	64	64
パークタウン阿波根集会所(字阿波根)	0	0	63	63
公務員宿舎前(字賀数)	5	0	58	63
真壁(東)(字真壁)	0	0	60	60
勝連病院(字真栄平)	0	0	57	57
まさひろギャラリー(西崎町5丁目)	18	2	36	56
西川町公民館(西川町)	2	0	54	56
ファミリーマート西崎工業団地前店(西崎町4丁目)	3	0	52	55
賀数団地(字賀数)	0	0	54	54
北波平馬場(字北波平)	0	0	54	54
糸満漁港入口(字糸満)	2	2	49	53
新川区コミュニティセンター(字糸満)	2	0	51	53
大川区学習供用施設(字兼城)	0	0	47	47
名城(南)(字名城)	0	0	46	46
大度公民館(字大度)	0	0	44	44
ローソン糸満賀数店(字賀数)	2	0	41	43
西崎2丁目集会所(西崎2丁目)	1	0	41	42
新垣(東)(字新垣)	0	0	40	40
真栄里入口(字真栄里)	3	0	37	40
海人工房(西崎町1丁目)	5	0	34	39
新屋敷区自治会館(字糸満)	2	0	33	35
与座コミュニティセンター(字与座)	3	0	32	35
新垣団地(字国吉)	0	0	34	34
大城家前(字兼城)	13	0	21	34
水産高校前(西崎1丁目)	1	0	32	33
豊原(字豊原)	0	0	33	33
ファミリーマート糸満阿波根店(字阿波根)	0	0	28	28
前端区公民館(字糸満)	0	0	27	27
ローソン糸満武富店(字武富)	3	0	22	25

荒崎海岸(字束里)	12	2	10	24
潮崎三丁目(潮崎町3丁目)	1	0	23	24
真謝原団地(字真栄里)	1	0	22	23
潮崎四丁目(潮崎町4丁目)	1	0	22	23
平和創造の森公園入口(字山城)	2	0	21	23
名城(字名城)	0	0	23	23
武富ハイツ自治会館(字武富)	0	0	22	22
阿波根コミュニティセンター(字阿波根)	0	0	21	21
真壁(西)元照屋商店前(字真壁)	2	0	19	21
西崎ニュータウン集会所(西崎町3丁目)	1	0	20	21
大里(字大里)	0	0	21	21
武富(字武富)	3	0	18	21
クール(字真栄里)	0	0	19	19
宇江城(字宇江城)	0	0	18	18
糸満フィッシャリーナ(西崎町1丁目)	3	0	15	18
兼城区コミュニティセンター(字兼城)	2	0	15	17
南部病院前(字真栄里)	0	0	16	16
町端区公民館(字糸満)	1	0	14	15
武富公民館(字武富)	0	0	15	15
子育て支援センターぬくぬく(字座波)	0	0	13	13
豊原(東)(字豊原)	0	0	13	13
摩文仁児童体育施設(字摩文仁)	0	0	11	11
高干瀬振興会集会所(字糸満)	1	1	8	10
国吉(字国吉)	0	0	10	10
田原入口(字真栄里)	1	0	9	10
ローソン糸満バイパス店(字阿波根)	1	0	7	8
海人道(字真栄里)	4	0	4	8
喜屋武公民館(字喜屋武)	1	0	7	8
県水産海洋技術センター前(字喜屋武)	1	0	5	6
小波蔵公民館(字小波蔵)	0	0	4	4
上里区コミュニティセンター(字束里)	0	0	4	4
西区公民館(字糸満)	0	0	4	4
糸豊環境美化センター(字束里)	0	0	2	2
米須海岸(字米須)	2	0	0	2
摩文仁ファミリーランド前(字大度)	0	0	2	2
山城ウリグチ(字山城)	0	0	1	1
山城入口(字伊原)	1	0	0	1
真壁公園(字真壁)	0	0	1	1
福地公民館(字福地)	0	0	1	1
溝原(字武富)	0	0	0	0
国吉構造改善センター(字国吉)	0	0	0	0
総数	1,992	102	23,628	25,722

延べ利用者数 12,861 人×2 (乗車・降車^{※1})

※1 総数は乗降者数をカウントしているため、利用者数の2倍となる

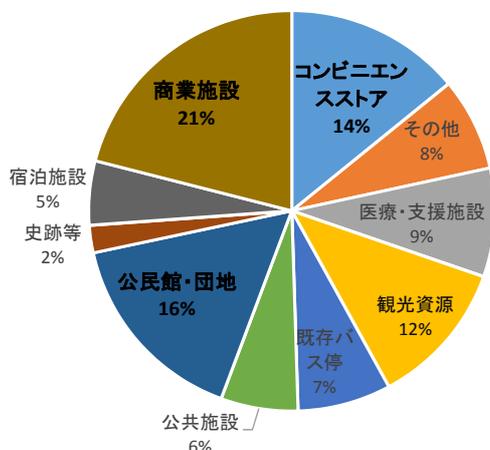
※利用総数が多い順でソートをかけた

※157箇所設置したバス停のうち、下位2つのバス停は利用がなされなかった箇所である

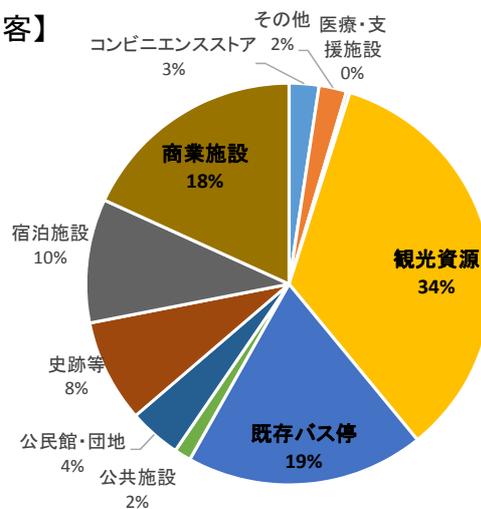
⑦ バス停種別の利用割合（居住地別）

いとちゃん mini の利用目的の傾向をみるため、157 箇所のバス停を 10 の種別に分けた場合、県内利用者は商業施設、公民館・団地、コンビニエンスストアの利用が多く、観光客は観光資源に続いて既存バス停（交通結節点を含む）、商業施設の利用が多い結果となった。

【県内】



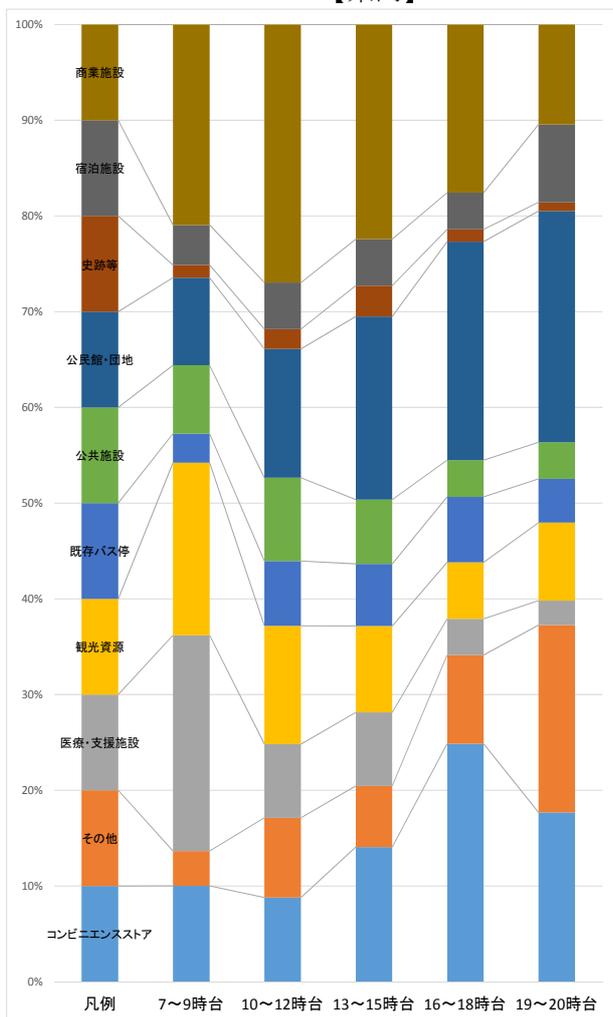
【観光客】



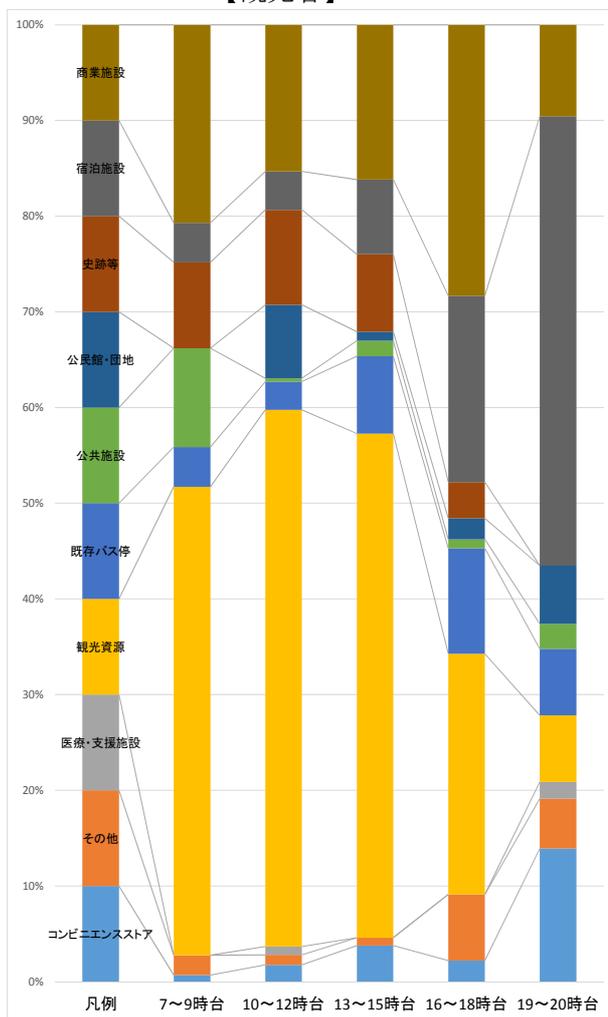
⑧ バス停種別の利用割合（時間帯別）

目的別の時間帯利用の傾向として、県内利用者は午前中に通院、昼間は買物、夕方は帰宅としての利用がみられ、観光客は日中に観光、夕方に宿泊施設への移動が多いことが推察される。

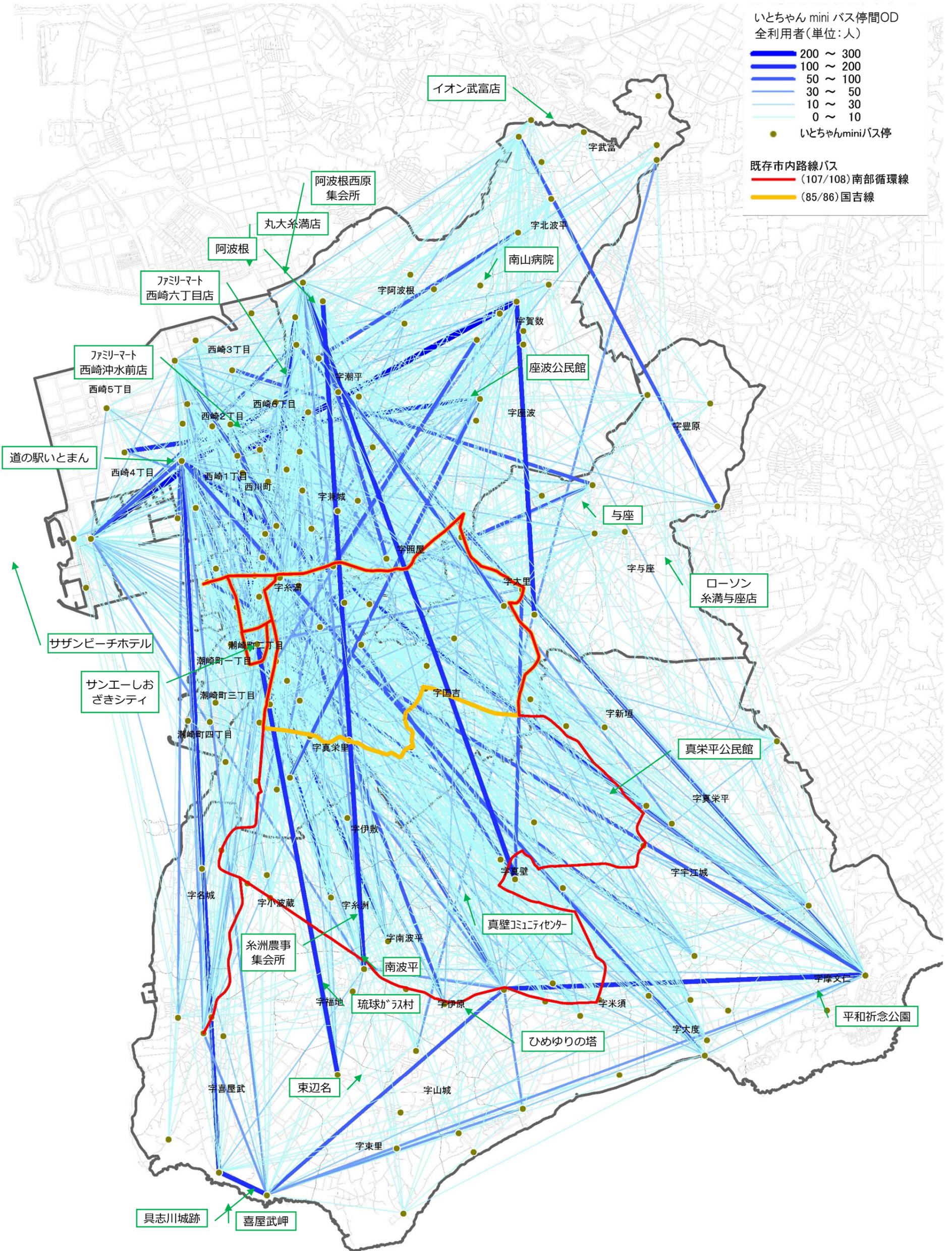
【県内】



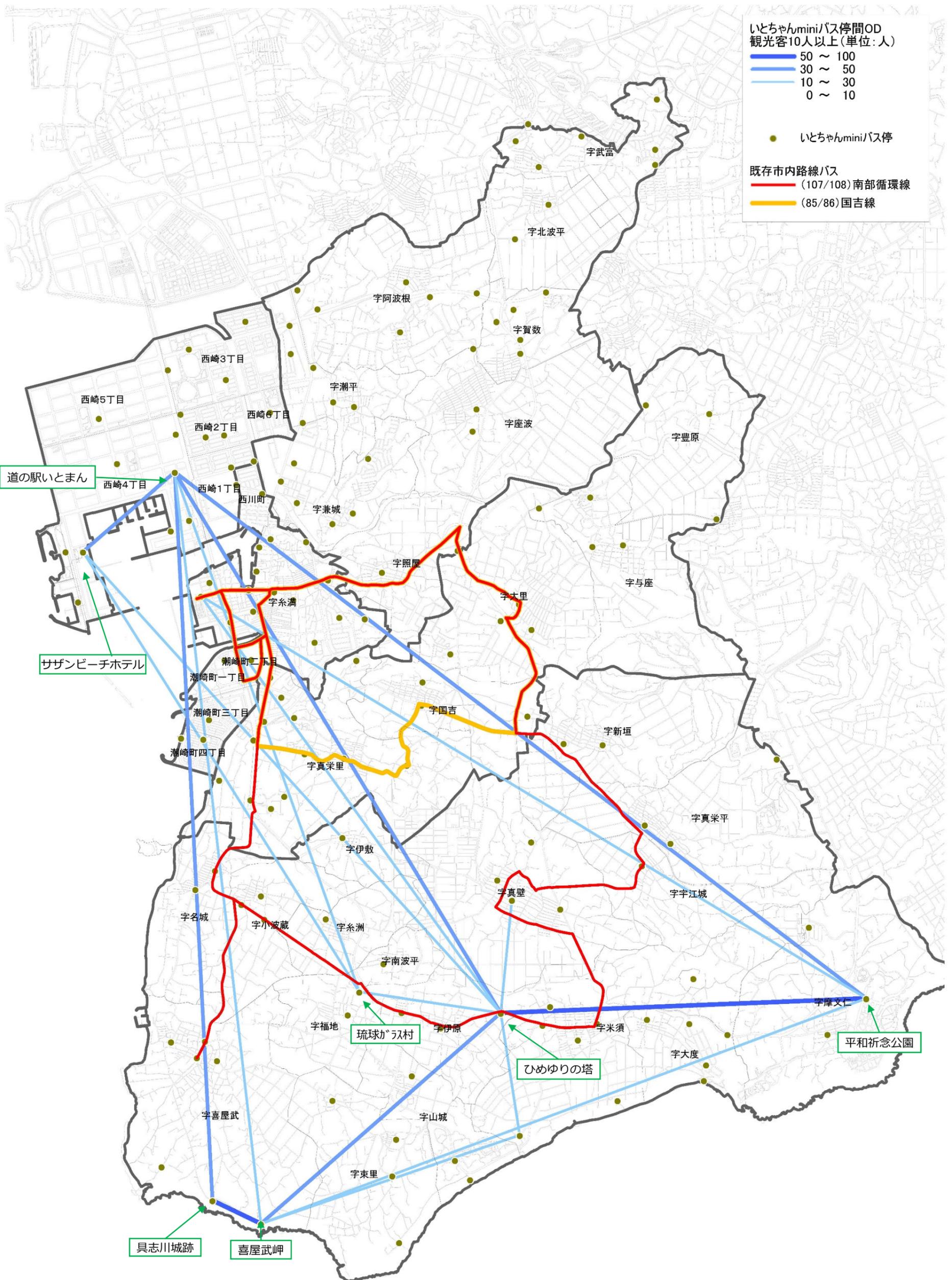
【観光客】



⑨-1 スパイダー図(全利用者)



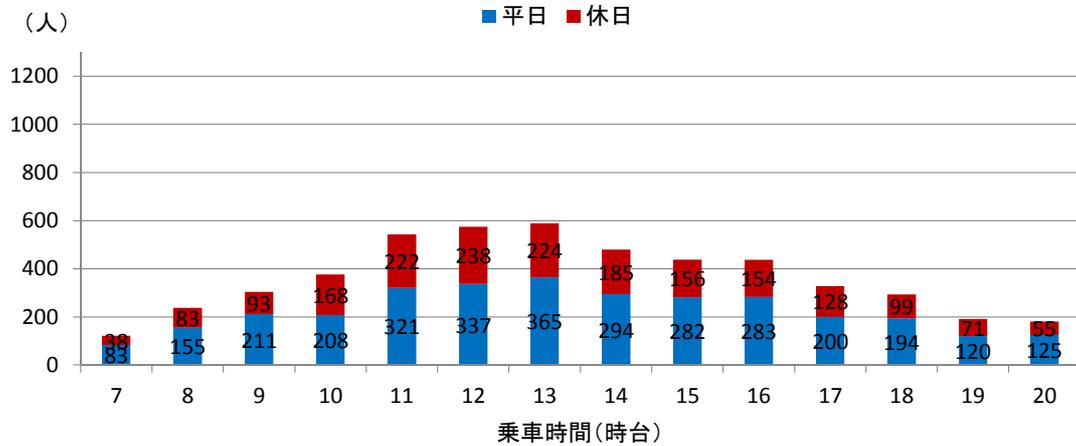
⑨-3 スパイダー図（観光客10人以上利用）



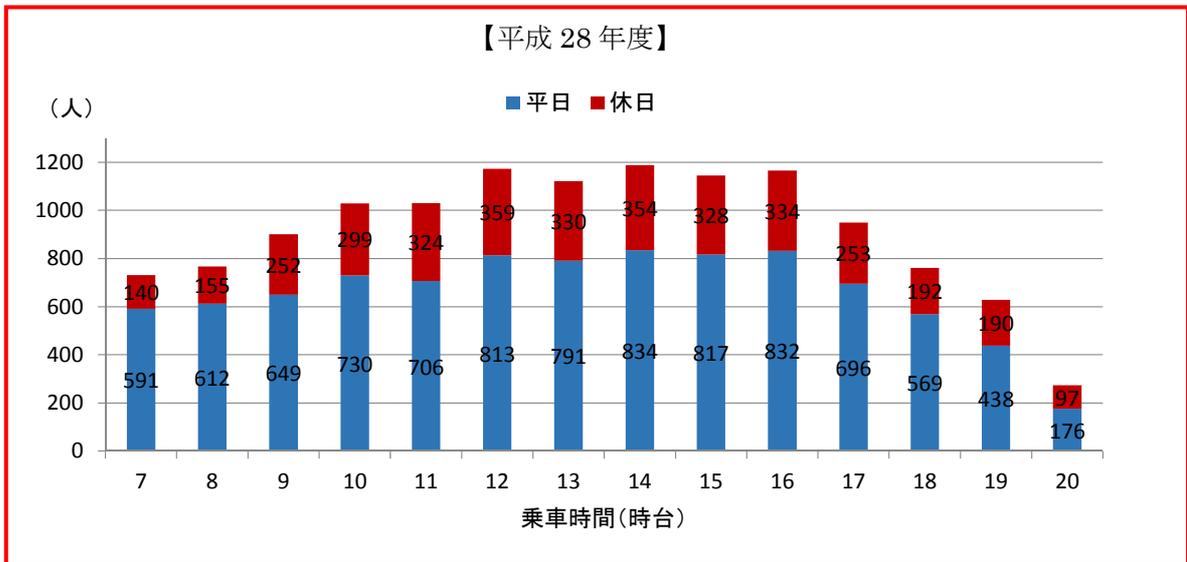
⑩ 時間別乗車人数（平日・休日別）

平成 27 年度は 12 時～13 時をピークとする日中の利用が多く、朝夕の利用は少ない傾向であったが、今年度は 18 時以降の時間を除き、14 時をピークとする幅広い時間帯で利用された。

【平成 27 年度】

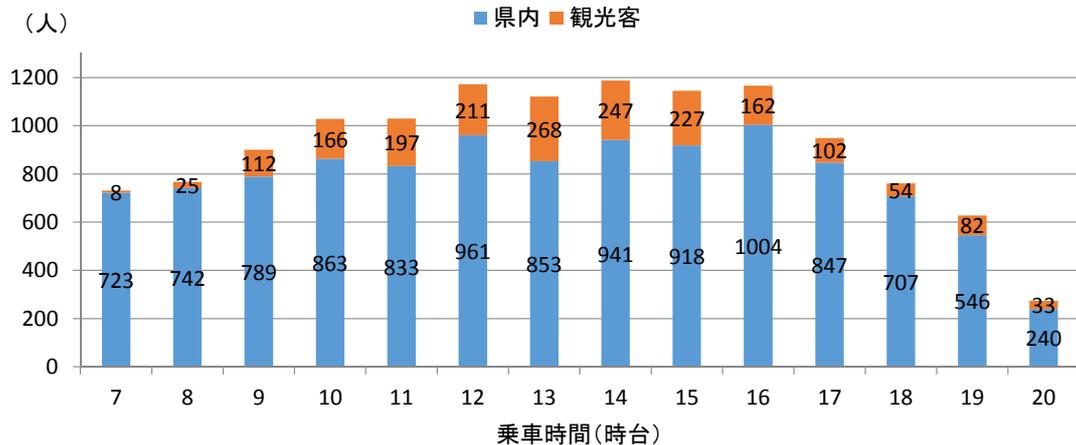


【平成 28 年度】



⑪ 時間別乗車人数（県内・観光客別）

時間帯別の乗車人数の構成をみると、県内利用者は 7 時から 18 時まで幅広い時間帯で利用されているのに対して、観光客は 10 時から 16 時までの日中に限り多く利用されている。



⑫ 割引運賃による延べ乗車人数

今年度、障害者割引・高齢者免許返納割引を利用した人は1,760人で、全体利用人数の13.7%を占めた。

割引運賃の種類	平成27年度					平成28年度				
	県外	国外	県内	合計	全乗車人数に対する割合	県外	国外	県内	合計	全乗車人数に対する割合
障害者割引	12		393	405	8.0%	103		1584	1687	13.1%
高齢免許返納者割引			37	37	0.7%	31		42	73	0.6%

⑬ 障害者割引適用者に利用されたバス停（TOP10）

障害者割引適用者に最も多く利用されたバス停はサンエーしおぎシティの407回であり、多く利用されたバス停の特徴としては、買物、通院での利用が推察される。

バス停名	利用回数
1 サンエーしおぎシティ(潮崎町2丁目)	407
2 南山病院(字賀数)	358
3 座波公民館(字座波)	273
4 ファミリーマート西崎沖水前店(西崎1丁目)	267
5 東辺名(字東里)	221
6 サンサンキッチン前(西崎町4丁目)	165
7 道の駅いとまん前(西崎町4丁目)	155
8 南波平(字南波平)	142
9 まつの木通り(字糸満)	83
10 糸満市役所(潮崎町1丁目)	81

⑭ 小中学生の単独利用件数及び利用人数（大人の同伴無し）

大人が同伴しない小中学生の単独利用は、1,160人で全体利用人数の9%を占めた。予約方法は、小中学生本人からの電話・WEB予約の他、保護者による電話・WEB予約であった。

項目	平成28年度	
	合計	全乗車人数に対する割合
単独利用件数	658件	6.8%
単独利用人数	1,160人	9.0%

⑮ 小中学生の単独で利用されたバス停（TOP10）

小中学生の単独利用で使われたバス停では、高嶺小学校正門付近にある南山城跡前が最も多く利用された。

バス停	利用回数
1 南山城跡前(字大里)	119
2 サンエーしおぎシティ(潮崎町2丁目)	115
3 ドラッグイレブン糸満潮平店(字潮平)	79
4 兼城ハイツ集会所(字兼城)	67
5 ファミリーマート糸満浜川団地前店(字潮平)	57
6 糸満市立中央図書館(字真栄里)	52
7 高嶺団地(字大里)	49
8 ガタ原集会所(字真栄里)	48
9 ファミリーマート西崎六丁目店(西崎6丁目)	47
10 座波公民館(字座波)	46

3-1-4 需要予測値との比較

平成 27 年度の実証実験結果を踏まえ、今年度新規に運行する区域を含んだ運行計画において予測された日乗車人数が 69 人であるのに対し、実験時の実績は 50 人と予測値の 72%に留まった。

需要予測では、一般路線バスと同様に平日に比べて休日の利用者は減少するとしていたものの、実験結果では休日も平日も同数の需要が発生していた。

需要予測と結果との主な乖離要因として、1 つ目に運行区域拡大等による毎運行における乗合効率への影響を考慮できていなかった事が挙げられる。運行区域拡大とバス停数追加等により、平成 27 年度に比べて平成 28 年度の利用人数は約 2 倍増加、予約件数はそれを上回る約 2.5 倍に増加したが、乗合発生割合は約 1.3 倍の増加に留まった。この傾向から、利用人数の伸びよりも車両配車回数が増える結果となったことが推察される。

本実験で使用した予約管理システム「コンビニクル」の特徴として、一人目の利用客の予約受付時刻から配車までの 30 分間に、別途近隣のバス停から同一方向の目的地への予約が入れば自動的に同じ車両を手配（乗合運行）する仕組みとなっている。しかし、この 30 分間を 1 分でも過ぎてしまうと、例え同一方向の目的地であっても、別の車両を配車する設定となっている。設定は調整可能であるが、本実験の「乗車時刻の 30 分前までの受付」という運用ルールと安全運行のために設けた「ゆとり時間」を順守するために必要となる設定であった。更に乗合発生率を高めるためには、運用ルールを含めたシステムの見直しによる乗合効率の改善が求められる。

2 つ目の要因として、いとちゃん mini を活用した観光プログラムの受け入れ態勢（ガイド要員）を昨年度と同様としていた為、県外利用者人数が伸びなかった事が考えられる。昨年度の実験に比べて利用人数は約 2 倍になっているが、内訳として県内利用者が約 3.2 倍、国外利用者が約 3.3 倍の増加に対して、県外利用者の人数はほとんど変わっていない。運行履歴を分析した結果、県外利用者のほとんどが「いとちゃん mini で周遊する観光プログラム」（詳細は、別冊「糸満市～那覇空港直行バス路線実証実験業務」参照）に参加している事がわかった。この結果から、観光プログラムの受け入れ態勢が昨年度と同様であったことが、県外利用者の増加に繋がらなかったと考えられる。

今年度展開した観光プログラムは 11 コース（ガイド付き、事前予約制）となっており、糸満市～那覇空港直行バス路線が実験運行していた 5 月 23 日から 9 月 30 日までの期間実施していた。予約センターに一日一人（前日までに複数予約が入った場合は一日二人）のガイドを常駐し対応した結果、実施期間中 131 日間で 138 回（稼働率は 60.3%）、計 268 人の観光客に利用された。個人によっては、観光プログラム終了後も自主的に市内観光資源を周遊する等、いとちゃん mini が観光振興に果たす役割は大きいと思われる。今後受け入れ態勢をさらに強化することで、県外利用者の増加につながり、ひいては市の観光振興に寄与すると考えられる。

本格運行に向けて、以上の要因を踏まえた検討を進めることが重要である。

単位：人/日

日乗車人数	平成27年度 実験結果	平成28年度 予測値	平成28年度 実験結果	差	結果/予測
平均	25	69	50	-19	72%
平日	24	80	50	-30	63%
休日	29	57	50	-7	88%

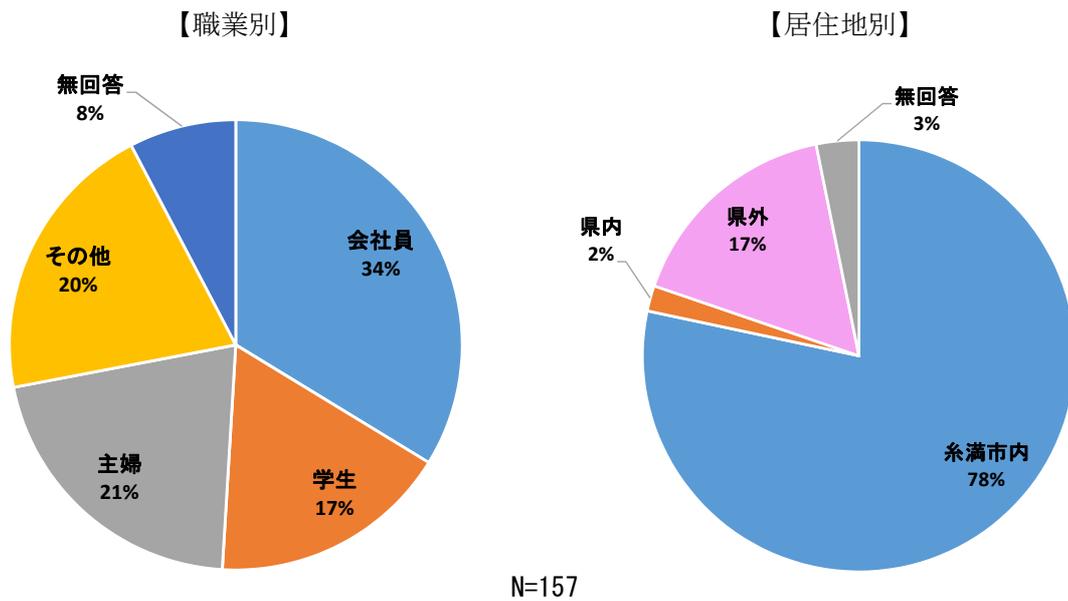
3-2 いとちゃん mini 利用者アンケート調査結果

いとちゃん mini の車内において、乗客に対するアンケート調査を実施した結果を整理する。

調査実施期間	平成 28 年 9 月 1 日 ～ 平成 29 年 1 月 31 日
調査実施方法	車内へのアンケート調査、回収用 BOX を設置
回 収 数	157 件

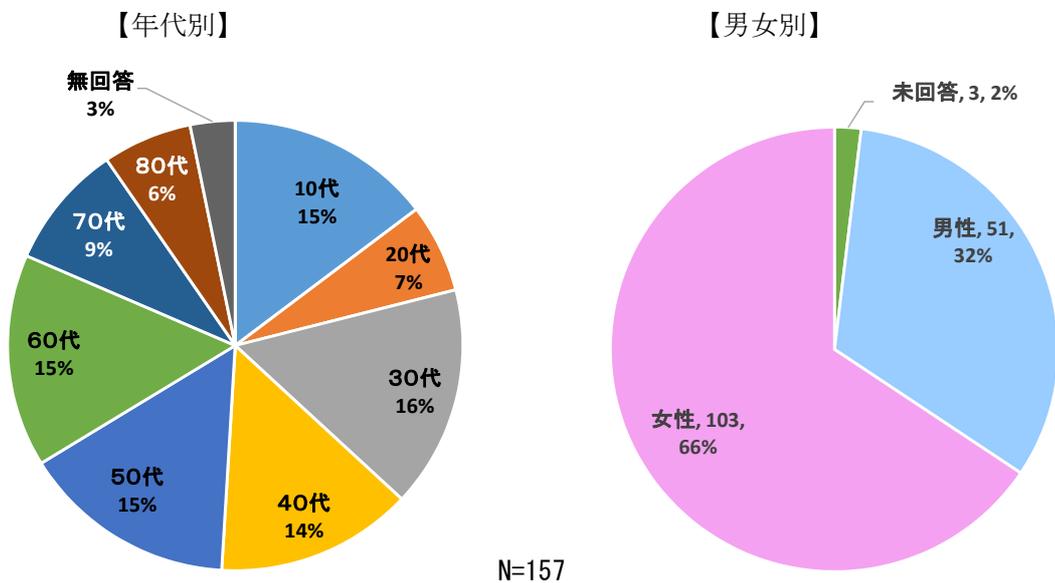
① 回答者属性（職業、居住地別）

回答者の職業は、会社員が最も多く、居住地別の回答者は糸満市在住者が約 8 割を占めた。



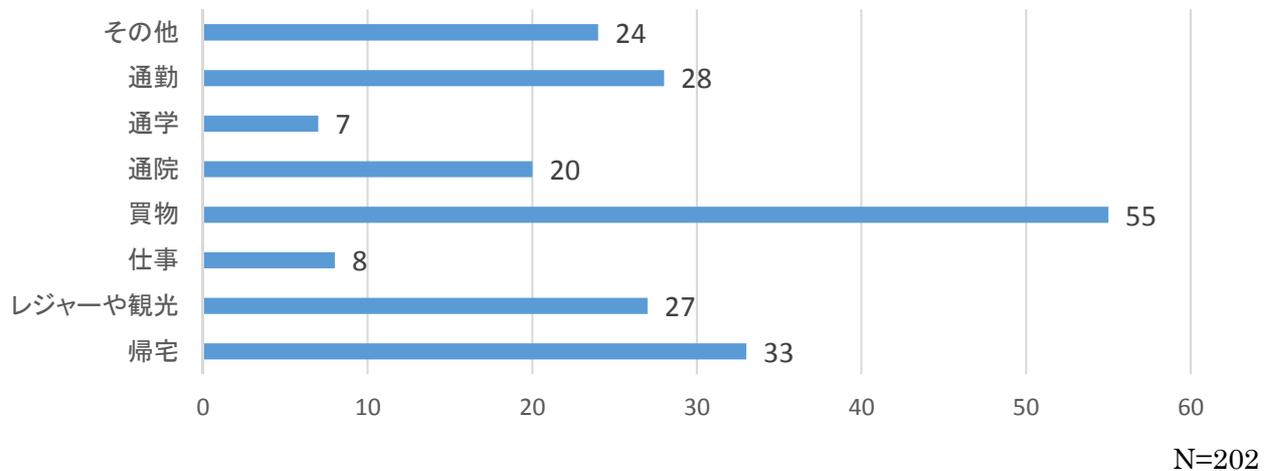
② 回答者属性（年代、性別）

回答者の年代は 30 代が最も多く、50 代以上が半数を占める。また、男女比では女性が約 7 割と半数を超えている。



③ 利用目的（複数回答可）

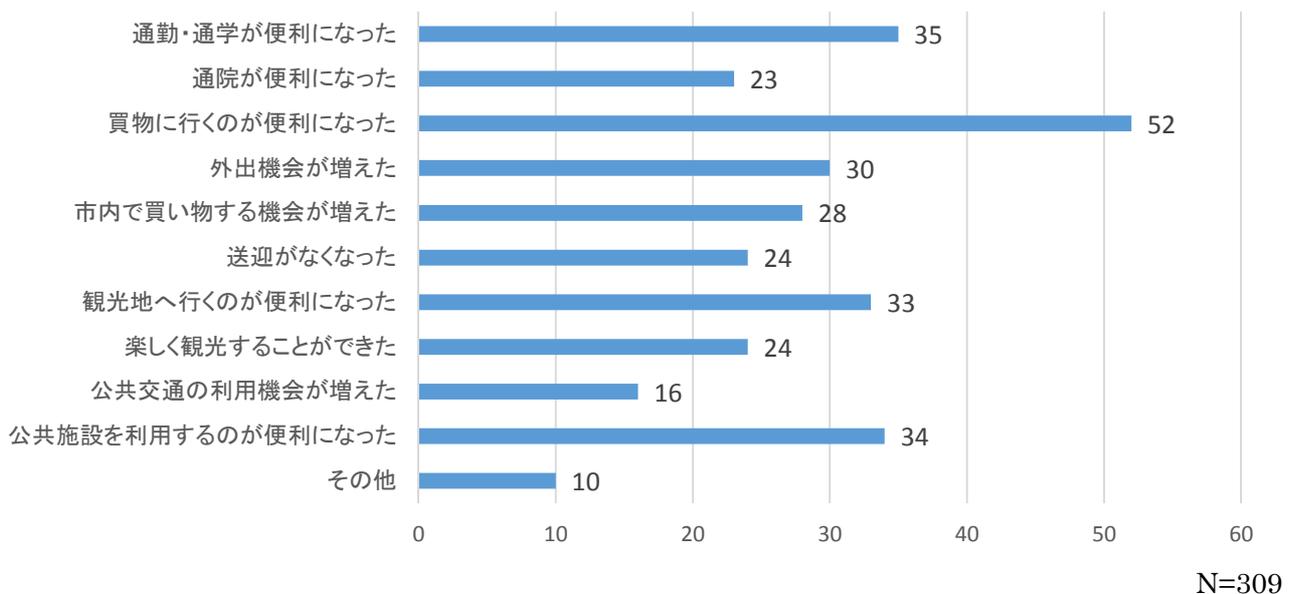
利用目的では、買物利用が最も多く、次いで帰宅、通勤利用が多かった。



その他の回答：車の修理、乳児健診、子どもの予防接種、部活、遊びの移動、居酒屋へ、塾へなど

④ 利用した効果（複数回答可）

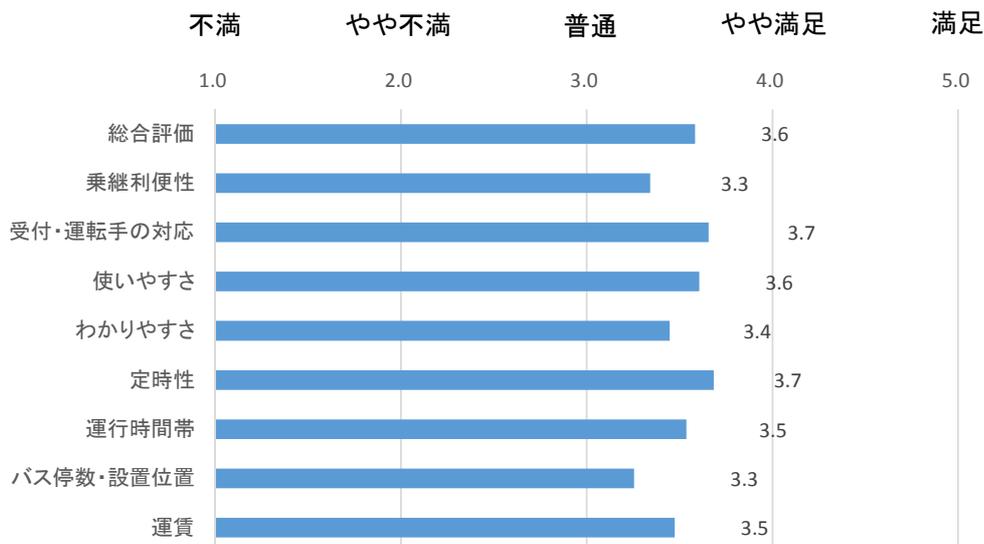
利用としては、買物、通勤・通学、公共施設への移動が便利になったとの意見が多い傾向である。また、送迎が無くなり、自由に外出する機会が増えたとする回答も多い。



その他の回答：通院車が無い時に便利、乗り場が近いのでとても良い、楽になった、低所得者・障害者・高齢者にやさしい、生活しやすい町づくりをアピールできる、交通費が安くなった、親がいない時も大丈夫！ など

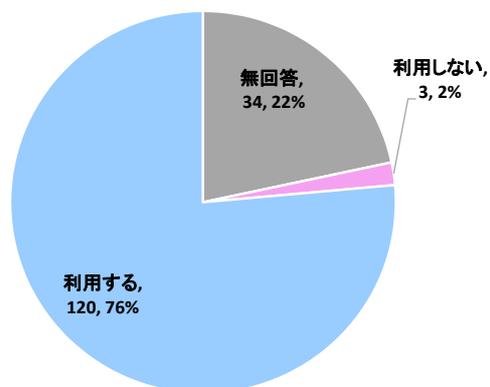
⑤ いとちゃん mini の利用満足度について

いとちゃん mini の利用満足度で評価して頂いた結果、平均値ではどの項目も普通を超え、やや満足に近い結果となった。



⑥ 今後いとちゃん mini を利用する予定はあるか

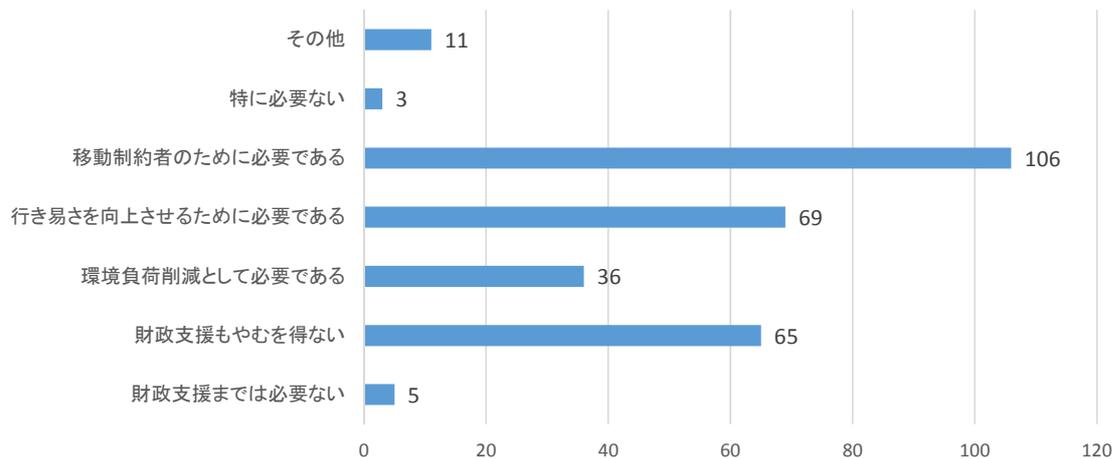
今後の利用意向を伺ったところ、今後も利用する（機会があれば利用したい）とする回答が 76% であった。



N=157

⑦ いとちゃん mini の今後のありかたについて（複数回答可）

今後のありかたについて回答を頂いたところ、肯定的な意見が多く見られた。



N=295

3-3 市民アンケート調査結果

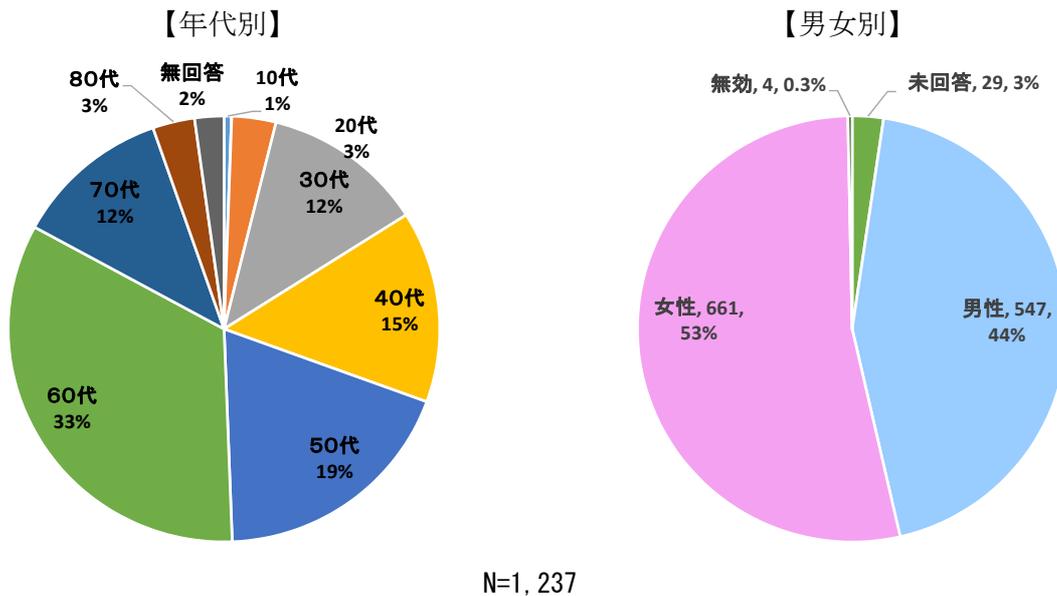
3-3-1 いとちゃん mini に関するアンケート調査結果

いとちゃん mini に対する認知度、利用状況、ニーズ等を把握するため、市広報誌（9月号）にアンケート調査票、返信用封筒を同梱し全世帯調査を行った。（任意回答）

（参考）全世帯 21,821 部配布、回収数 1,237 部、回収率約 6%

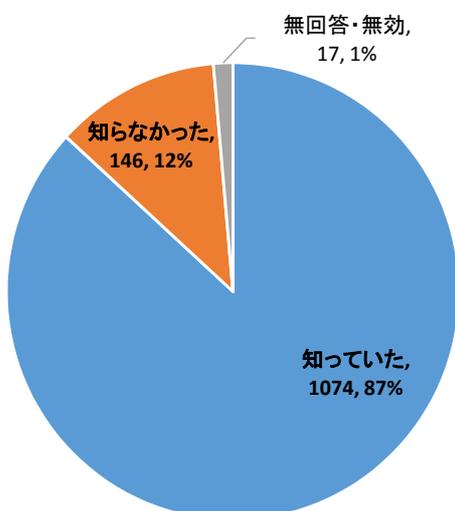
① 回答者属性

回答者の年齢別割合では 60代が 33%前後と最も多く、60～80代以上を合わせると約半数を占めている。



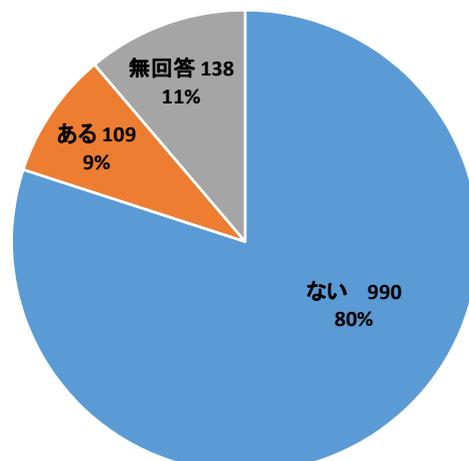
② いとちゃん mini を知っていたか（認知度）

いとちゃん mini の実験運行について知っていたとする割合は、87%と高い結果であった。



③ いとちゃん mini を利用したことがあるか

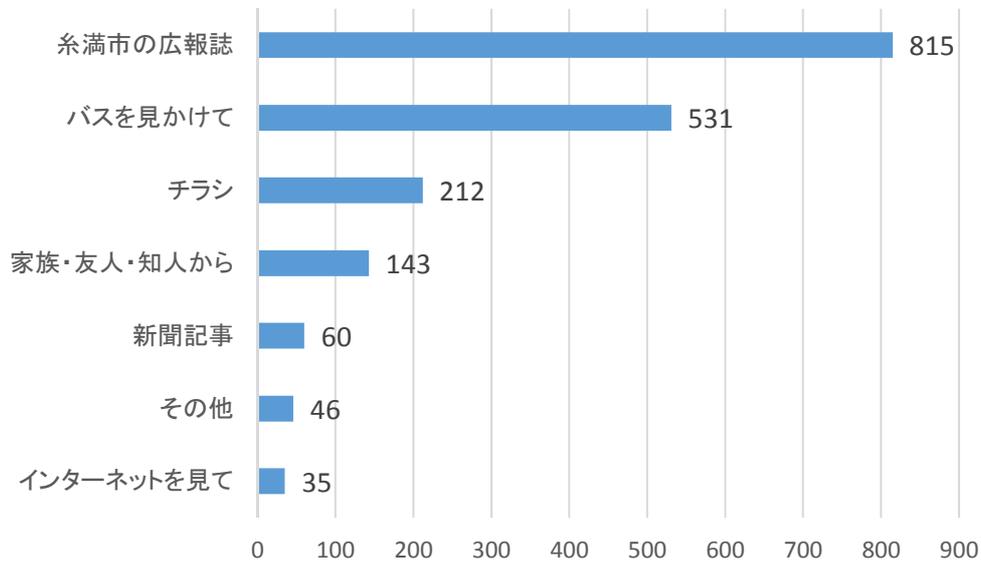
高い認知度にもかかわらず、いとちゃん mini を利用したことがあると回答した割合は 9%であった。



N=1,237

④ 知ったきっかけ（複数回答）

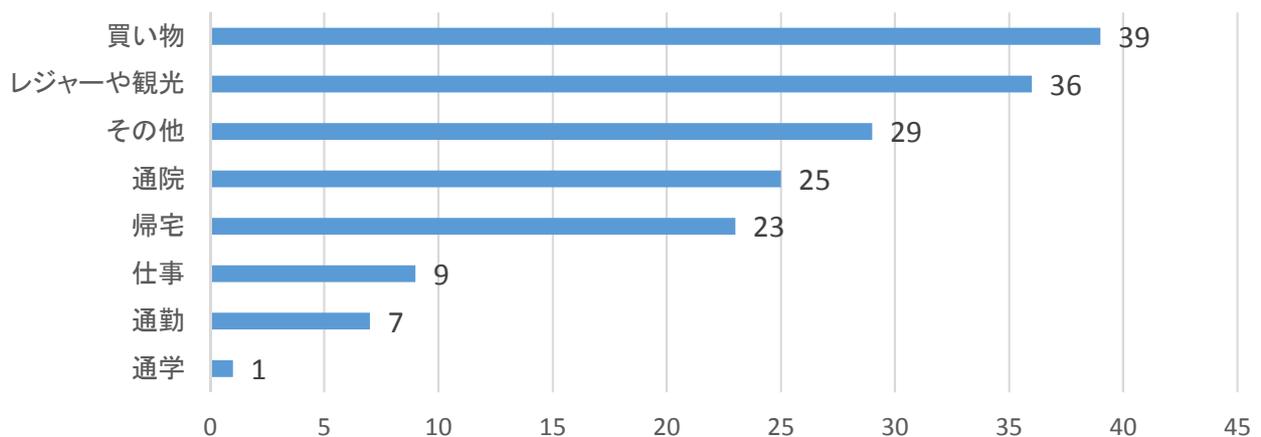
いとちゃん mini の運行を知ったきっかけでは、市広報誌に掲載された告知記事が最も多く、次いで走っている車両を見かけてとなっている。



その他の回答：アンケート、デイサービス、市民活動支援センターのブログ、FM タマン、など

⑤ 利用目的（複数回答）

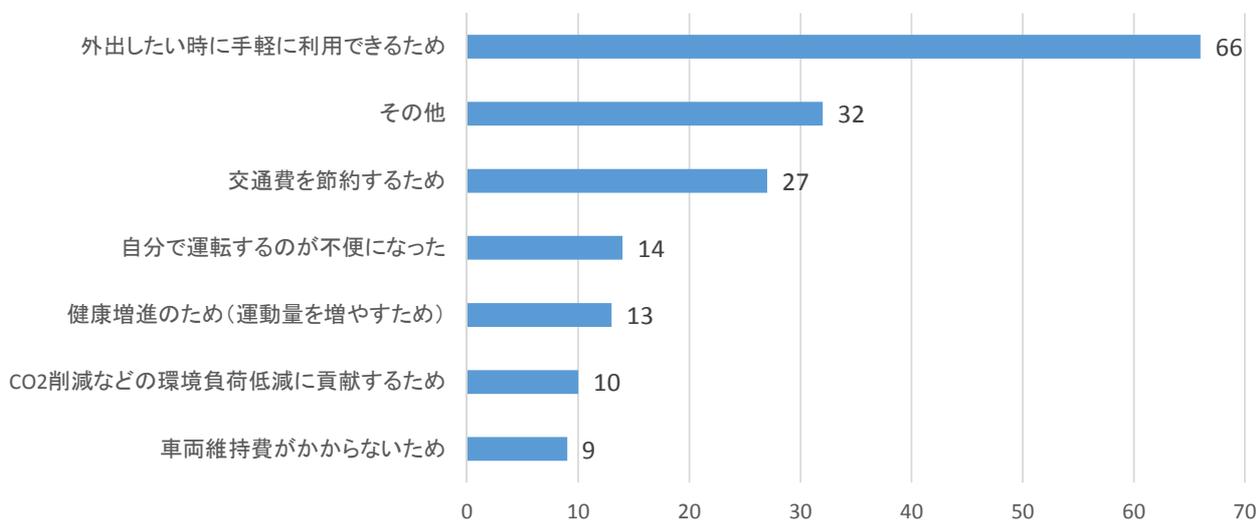
利用経験のある方に対して、利用目的を伺ったところレジャーや観光目的が最も多く、次いでその他、買物と続いている。



その他の回答：祖母宅までの子どもの送迎、飲み会、子育て支援センター、公共施設へなど

⑥ 利用しようと思った理由（複数回答）

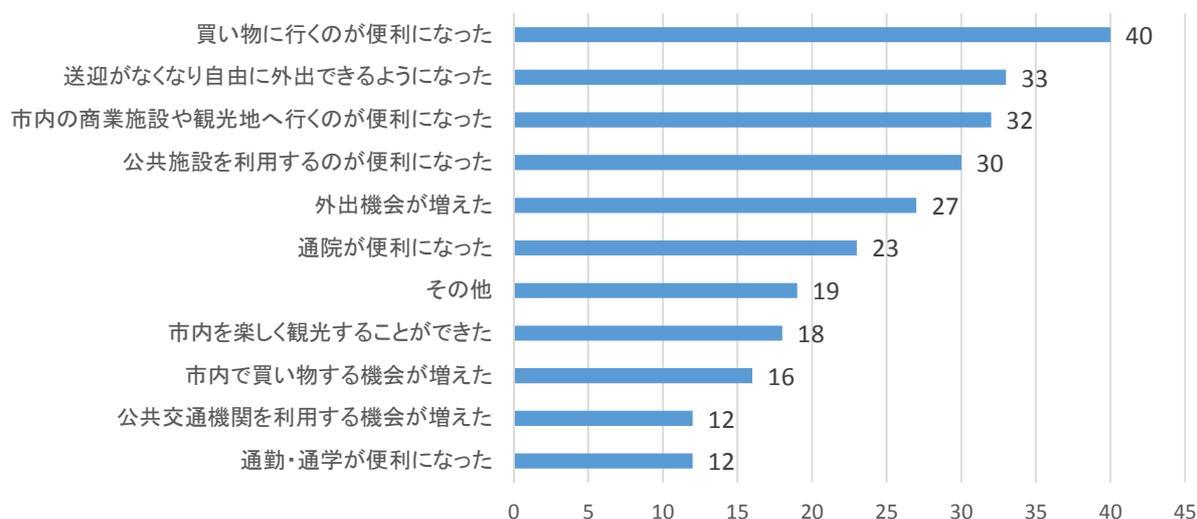
いとちゃん mini を利用しようと思った理由としては、外出したいときに手軽に利用できるためとする意見が多い。自由意見で特徴的だったのは、いとちゃん mini を使った観光コースを利用したいとの声が複数あった。観光客だけでなく、市民の市内観光目的としても利用ニーズがあることがうかがえる。



その他の回答：家族で車を共用している、既存路線バスが少ない など

⑦ 利用した効果（複数回答）

いとちゃん mini を利用したことによる効果としては、商業施設や観光地への移動、買物が便利になったとする意見が多い傾向にある。また、利用しようと思った理由で多くを占めていた「外出したいときに手軽に利用できる」という利用動機の効果として、家族などによる送迎が無くなり自由に外出できるようになったとする回答も多い。

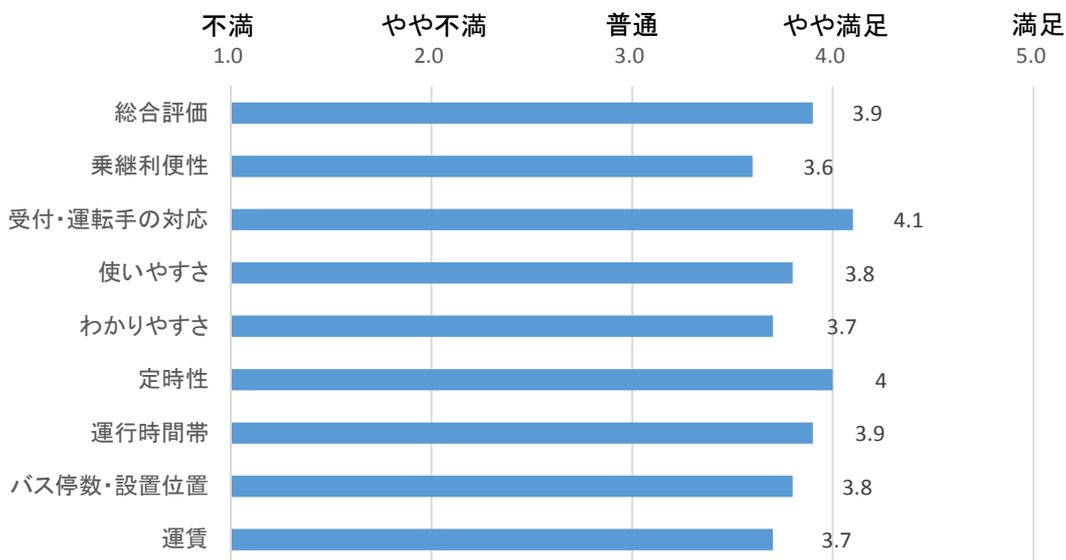


その他の回答：家族送迎の負担が軽くなった、乗継がないので用事を早く済ませられる など

⑧ いとちゃん mini の利用満足度について

いとちゃん mini を利用した事がある市民に各評価項目について不満～満足まで 5 段階で評価して頂いた。その結果、平均値ではおおむねどの評価項目も「普通」を超え、全体として「やや満足」に近い結果となった。

一方、「やや不満」「不満」と評価された件数では「運賃」や「バス停数・設置位置」に対する不満が多く、設問回答者（N=127）の約 2 割に相当する。



(参考) 「やや不満」「不満」と評価された件数

運賃	バス停数	運行時間帯	定時制	わかりやすさ	使いやすさ	受付・運転手対応	乗継利便性	総合評価
25	25	18	13	20	18	11	15	15

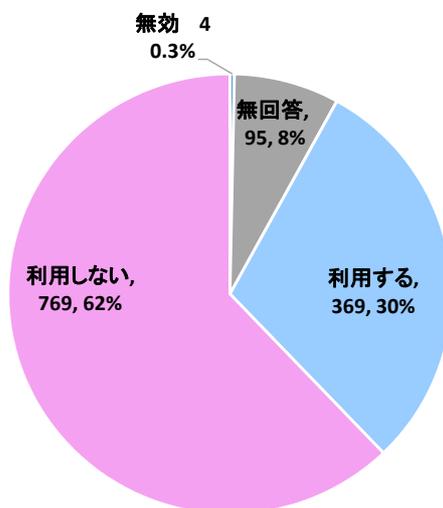
(参考) 「やや不満」「不満」と評価する自由意見

運賃に関して：学生割引が欲しい、一日乗車券は割安だが普段運賃は高い など

バス停に関して：荷物が多い時は家近くで降ろして欲しい、赤嶺駅まで行って欲しい など

⑨ 今後いとちゃん mini を利用する予定はあるか

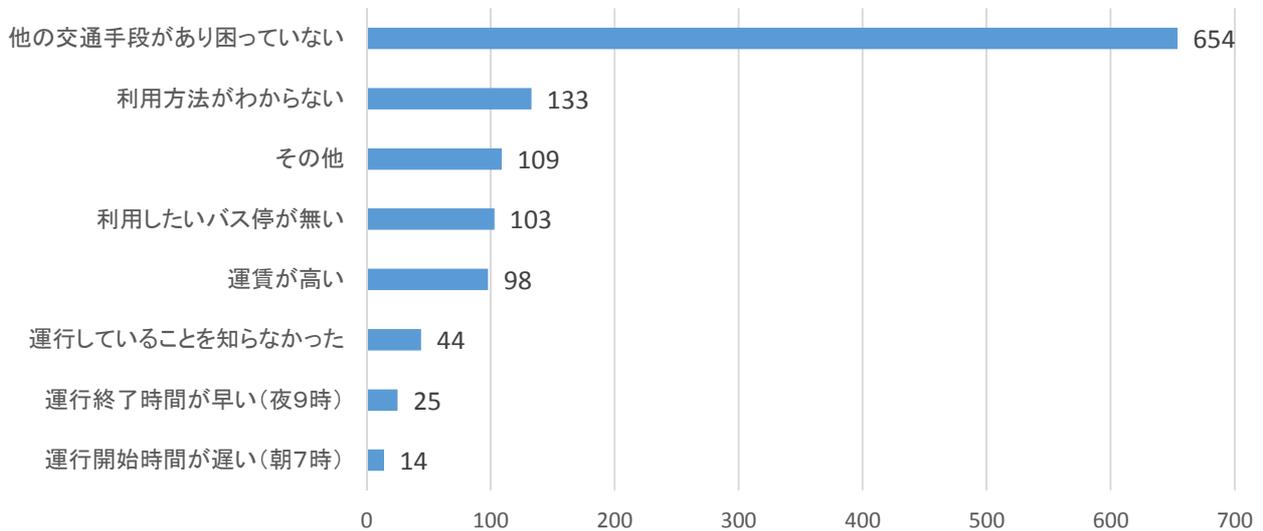
利用経験の有無を問わず、今後の利用意向についてうかがったところ、利用したいとする回答は 30%であった。



N=1, 237

⑩ いとちゃん mini が運行されても利用しない理由（複数回答）

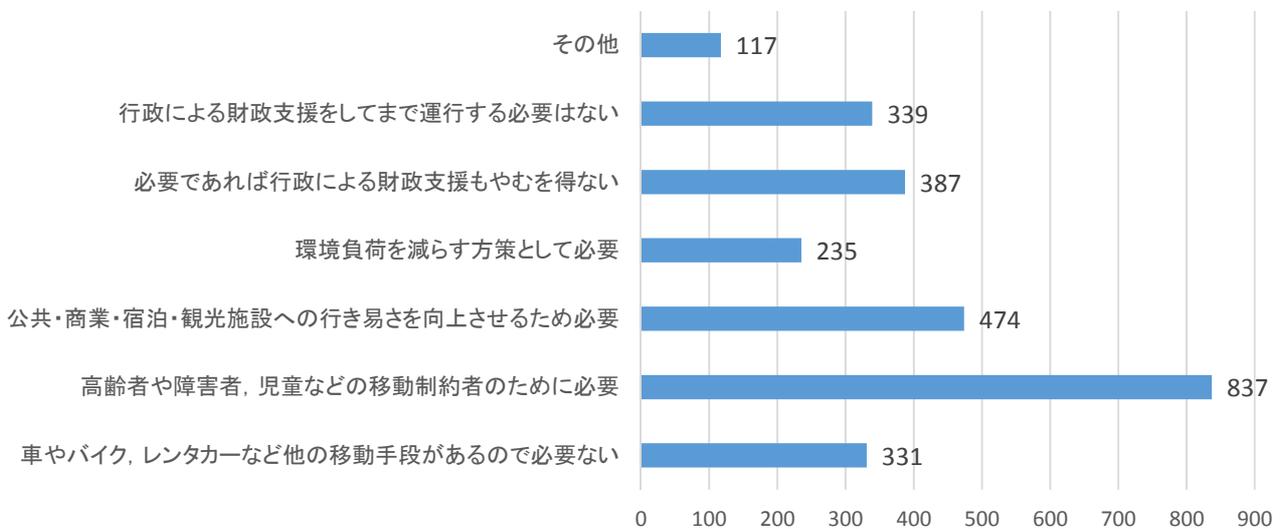
利用しないとする理由については、自家用車など他の交通手段があり困っていないとする回答が最も多く、利用方法がわからないとする回答が多かった。



その他の回答：市内に用事が無い、予約が面倒、バス停が遠い、バス停がわからない など

⑪ いとちゃん mini の今後のありかたについて（複数回答）

いとちゃん mini の今後のあり方について選択肢を提示のうえ回答頂いたところ、肯定的な意見が多かった。



その他の回答：相乗りに抵抗がある、市内に用事が無い、予約が面倒など

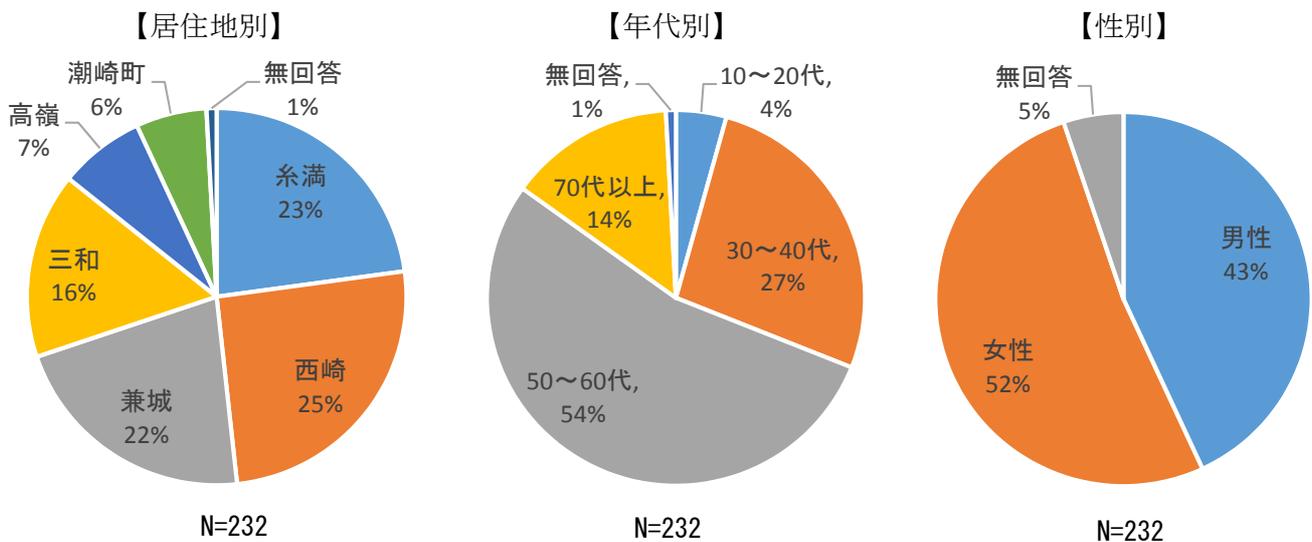
3-3-2 公共交通に関するアンケート調査結果

市民の公共交通に対する意識等を把握するため、当事業の目的やこれまでの検討経緯等の概要についての説明と平成 27・28 年度の実証実験結果内容を掲載したアンケート用紙を市広報誌（1 月号）に折り込み、全世帯調査を行った。（任意回答）

（参考）全世帯 22,041 部配布、回収数 232 部、回収率約 1%

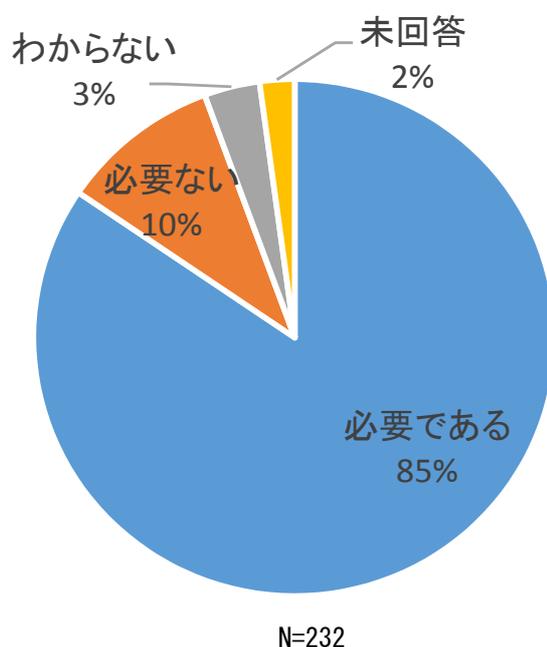
① 回答者属性（全体）

回答者の居住地別割合では、西崎地区が最も多く、次いで糸満地区、兼城地区が多い結果となった。また、回答者の年代別割合では、50 代～60 代が半数以上を占めた。



② 公共交通の必要性について（全体）

当事業の検討経緯や実証実験結果を踏まえた上で、将来も含めた公共交通の必要性について伺ったところ、必要であると回答した方が 85%、必要ないと回答した方が 10%であった。

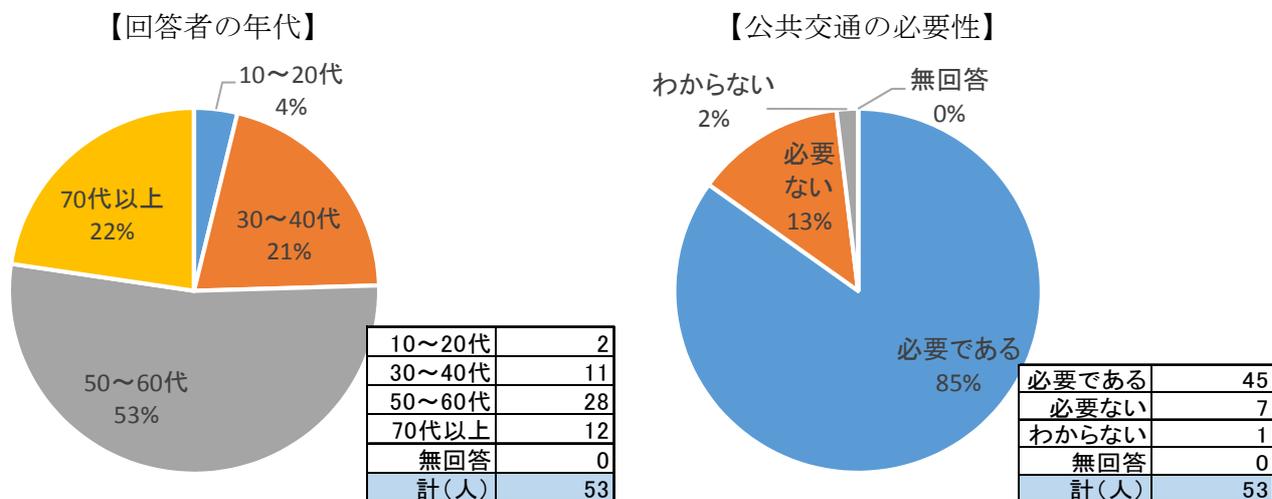


必要である	196
必要ない	23
わからない	8
未回答	5
計(人)	232

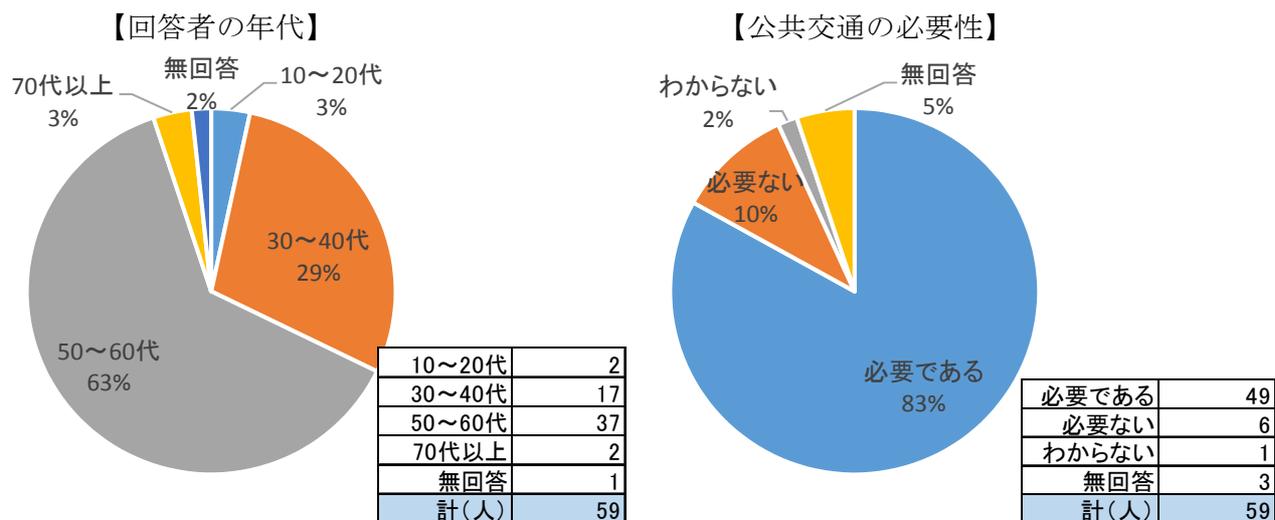
③ 公共交通の必要性について（地区別）

将来も含めた公共交通の必要性についての回答を地区別で集計した。

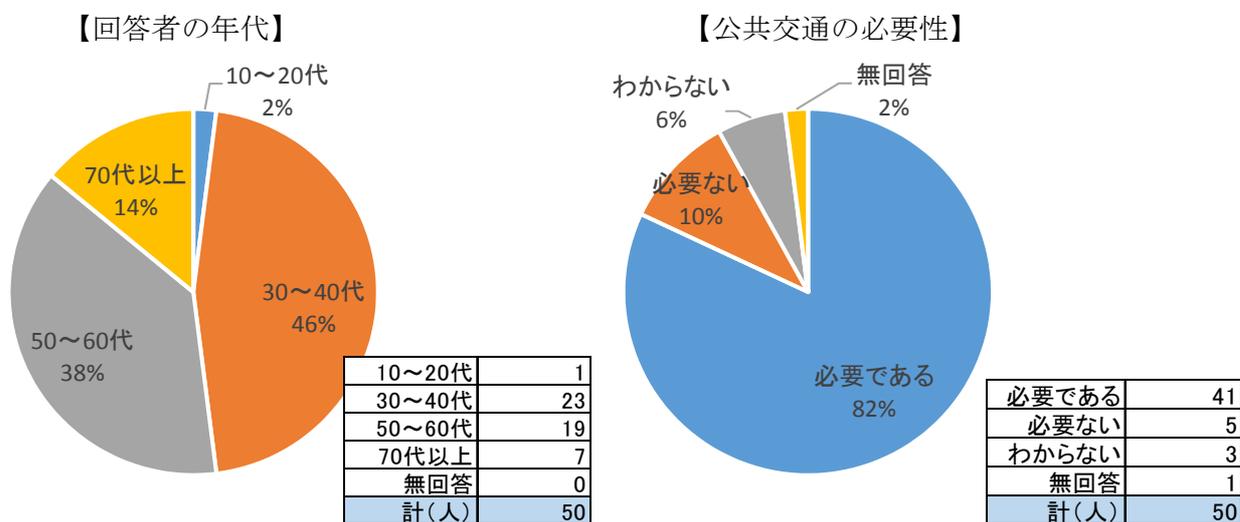
■ 糸満地区



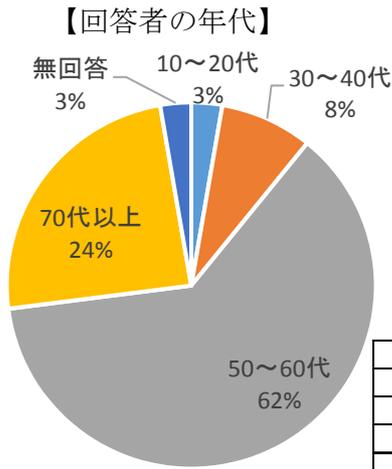
■ 西崎地区



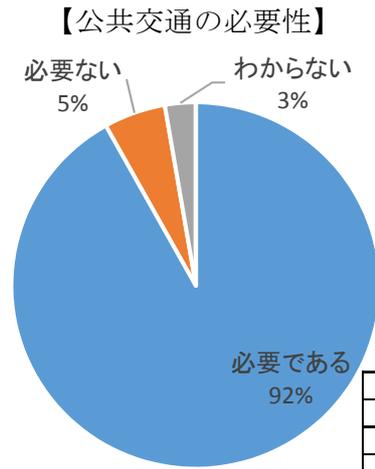
■ 兼城地区



■三和地区

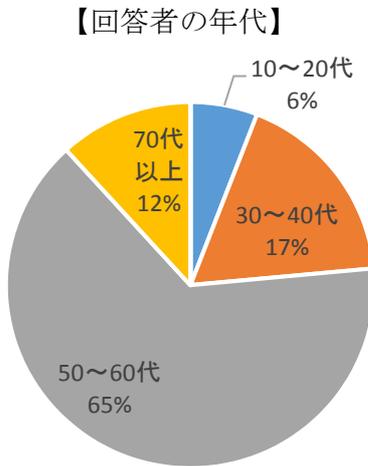


10～20代	1
30～40代	3
50～60代	23
70代以上	9
無回答	1
計(人)	37

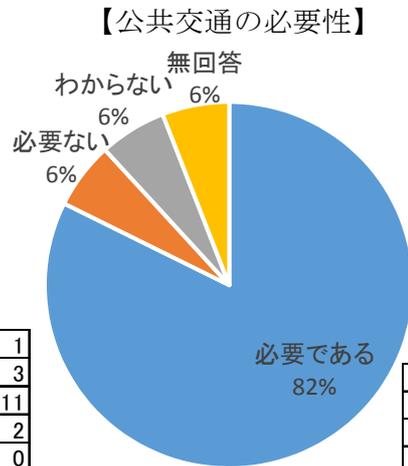


必要である	34
必要ない	2
わからない	1
無回答	0
計(人)	37

■高嶺地区

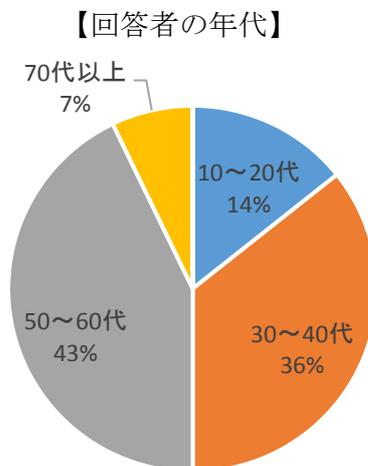


10～20代	1
30～40代	3
50～60代	11
70代以上	2
無回答	0
計(人)	17

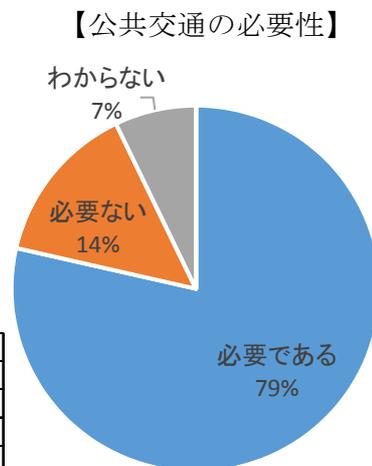


必要である	14
必要ない	1
わからない	1
無回答	1
計(人)	17

■潮崎町地区



10～20代	2
30～40代	5
50～60代	6
70代以上	1
無回答	0
計(人)	14

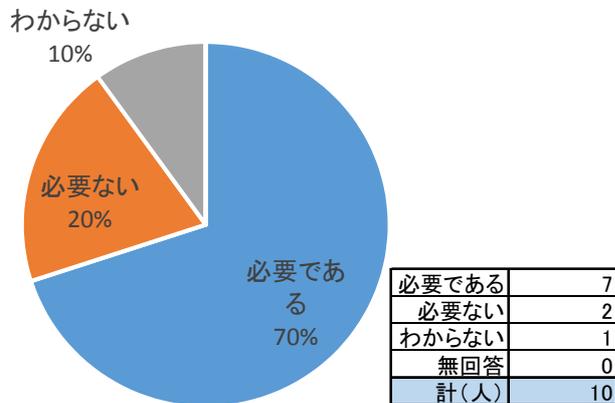


必要である	11
必要ない	2
わからない	1
無回答	0
計(人)	14

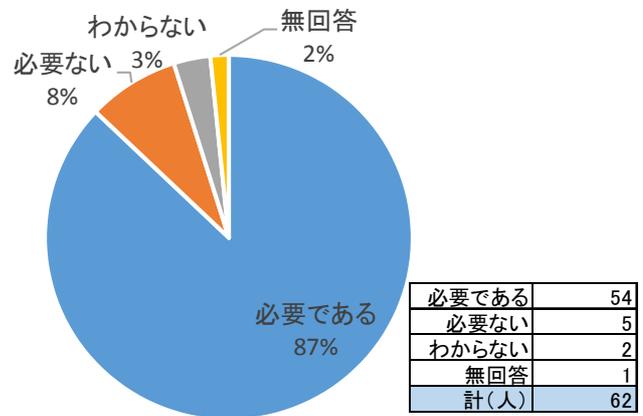
④ 公共交通の必要性について（年代別）

将来も含めた公共交通の必要性についての回答を年代別で集計した。

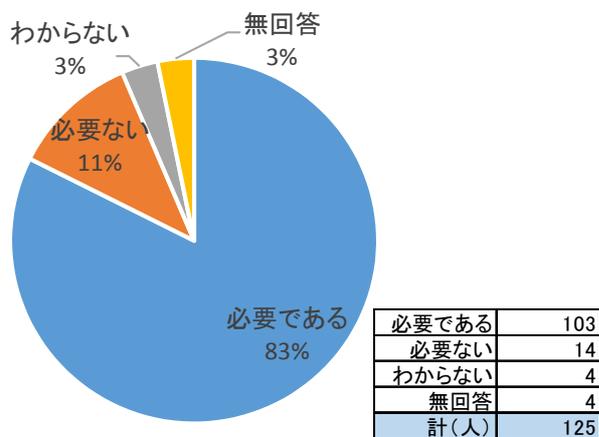
■ 10代～20代



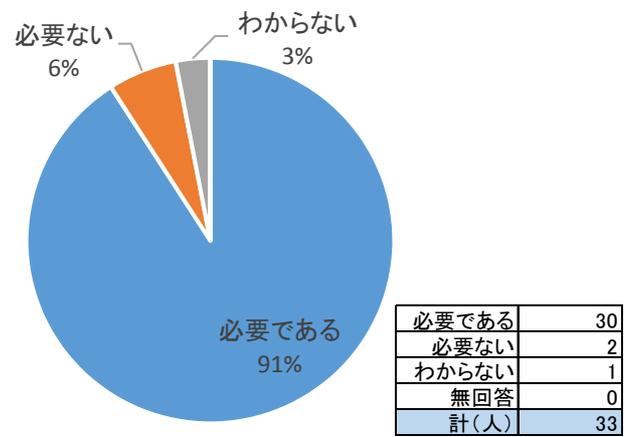
■ 30代～40代



■ 50代～60代



■ 70代以上



■ 年代無回答

※回答件数が2件と母数が少ないため、数値のみの標記とする

必要である	2
必要ない	0
わからない	0
無回答	0
計(人)	2

⑤ 公共交通の必要性についての自由意見

アンケートに回答した 232 人のうち、185 人の方から自由意見を頂いた。そのうち「公共交通が必要である」と回答した方と「必要ない」と回答した方の自由意見をそれぞれ分類した。

「必要である」と回答した 196 人の自由意見として最も多かったのは、「高齢者や障害者、児童などの移動制約者のために必要」といった意見であった。また、「必要でない」と回答した 23 人の自由意見で最も多かったのは「行政による財政支援（赤字補填）をしてまで運行する必要はない」であった。

■ 必要であると回答した方の自由意見（代表的な意見）

高齢者や障害者、児童などの移動制約者のために必要	
1	車を持ってない者としては、バスは必要です。特に南部方面(三和地区)に遊びに行こうと思っても足がないし…バス路線図、時刻表等があれば良いと思います。(各社共通で…)
2	沖縄県はマイカーの所持率は高いけれど高齢者や小中学生生活保護世帯いわゆる弱者のための交通機関は必要だと思う。
3	普段は路線バスを利用しています。車を運転しないものとしては、とても助かっています。
4	車社会と云えども老人、学生にとっては必要欠く事の出来ない公共交通機関であると思います。
5	将来公共バスは必要です。私老人はなるべく車をもたないようにしています。でも病院行ったり用事に行ったりする時はバスを利用していますがバスの時間を調べたり思う時間にこなかったりバスをにがしたりと出かけるのが、おっくうなりそうです。病院にも予約時間が間に合わなくなりあとまわしにされたりとこまります。年金生活者にとってタクシーはチョットね。
6	空白地域に住む方々や交通弱者の方々の為にも必要であると考えます。
7	私は車を所有しているので必要ないがバスで通勤している母、通学している娘をみてみると、公共交通は必要!!だが、昼間など、ガラガラのバスなどをよく見かける。実験結果がデータとしてあるのなら、朝・夕に公共交通をふやす、いなか住まいの方のためにバス停をふやすなど色々対策としてあるはず。ガラガラのバスを見ていて、いつも思うことだ。
8	私自身はマイカー移動で利用したことは一度もありませんが、運転ができない人達のためには必要だと思われれます。
9	現在、兼城ハイツ地域の路線バスは他に無く、従ってバスによる他地域へのアクセスが出来ません。都合で一年後に車の免許の返納を考えていますが、そのあとの移動手段はありません。どうしたものか?高齢化によって同地域の住人で困っている方々が多くいます。考慮いただければありがたい。(兼城ハイツ住人)
10	農村部(三和地区)においては交通機関が(バス停が遠く)一時間置きに運行されて子供たちの通学やお年寄りの買物等に支障をきたしている。また、家庭の負担(交通費)を減らす為にも子供たちの帰る時間帯等も考慮して運行していただければ助かる。
11	「車があるので公共交通は使わない」と考える人は多い。しかし、車を持ちたくても持てない人もいる。
12	小生は八十路目の男性である。現在妻の買物、通院その他もろもろ自家用車を利用している。しかし、高齢者の「免許証返還」の波が押し寄せており、早晚小生も返す予定である。となれば後期高齢者の二人にとって頼りは「公共バス」以外にない。絶対必要の所存である。
13	現在のところ、まだ車の運転ができる状況にあるので、特に必要性はないが、将来年齢を重ねて、車の運転も難しくなることが確実なので、その時に買物等、移動が必要なときに、身近に公共の乗り物がないとなると不安である。
14	今後免許証を返納した時の事を考えると、タクシーに頼らざるをえなくなる。しかし年金生活者にとっては、負担である。

15	現在 64 才です。あと 10 年後には車の運転も不安になる時、生活の中での公共交通の必要性は感じます。観光者に対して、いとちゃんバスは、必要でしょうが、観光タクシーの充実を計り、いとちゃんミニバスの活用をもっと考えてほしいと思っています。
16	これから、超高齢化社会になっていく中で免許を返納した方や今まで路線バスを利用していた人達の足に変わり、移動手段が小回りのきくこの mini バスがあれば市内の方の行動範囲も広がりました。元気で活発な高齢者が増え糸満市も繁栄するのではないのでしょうか。
17	今後、高齢者も増え、免許証の返納など、運転できない人にとっては、良い制度だと思います。利用者ももっと増えると思います。
18	高齢化社会に対応して、高齢者が外出しやすい環境づくりよろしくお願いします。
19	この先運転ができなくなると、病院買物遠出ができず、閉じこもりやうつ病など高齢者が多くなるのでは。将来を見越して運行は継続すべきと考えます。
20	誰でもいずれは交通弱者となるケースをかかえる事を想定し進めて生かされることを願います。

公共施設や商業施設、宿泊施設や観光施設への行きやすさを向上させるために必要	
1	病院(開業医も含む)、公民館、集会所、学校、スーパー、コンビニ、銀行、郵便局にはバス停が必要です。
2	三和地区からショッピングモールへの利用が多いのも日常生活の中での食料品、日用品の買物が出来る事で大変助かっていると考えます。
3	市役所が遠いのであると助かり又買物も助かっているのに足が悪いので困ります。又続けてほしいです。お願いします。
4	那覇までの交通の便が悪く、バス代が高い。空港行きは是非続けてほしい。
5	空港から直接、糸満市に入っていただく足があれば観光客としても喜ばしいと思いますし、来てもらえます。
6	ひめゆり塔などに行く交通が少ない
7	市内のホテルで働いておりますが、レンタカーを借りていないお客様にとってはとても便利だと思います。通常のバスだと空港まで直行は出来ないし近くのバス停を通る回数も少なかったので困っていましたが、それからを全て解消出来ていたのですたくさんのお客様に案内してご利用して頂いていました。
8	観光客の反応、三和地区等(大きな)お店の少ない所の方が利用されているのを見ると、自分が使わないとしても必要なのではと感じました。
9	いとちゃん mini もですが空港直行バスいとちゃんバスも運行させてほしいです。観光地めぐりにも便利だと思います。
10	父や母が県外からこちらに来る際、利用した。実験が終了してもう乗れないと言ったところ、不便になるな…と残念がっていた。空港から乗り換えなしで糸満に来られる交通手段は必須であると思う。空港の駐車場は高く、空きがないこともあり、旅行へ行く時にバスがあれば…(直行)と思ったことは数知れず。バスのサイズを小さくしたりして、再度運行してくれることを願っています。瀬長や豊崎を経由し、観光客が乗りやすくしたら、乗車率も上がるのでは?知らない土地でレンタカー利用をしたくない人は、モノレール・バス等を使うので、直行がないと豊見城や那覇で止まってしまうかと。

実験中、利用してみて(実験結果を見て)便利、必要だと感じた	
1	市内から那覇空港を結ぶバスは短時間で行き来できるのに、利用価値がある。市内いとちゃん mini のバス停を増やして利用するポイントが増えた。目的地には、たいてい最寄バス停があったので、とても便利であった。
2	私は今「いとちゃん mini」を利用しています。糸満から西崎病院まで利用しています。足の悪い私は座波のバス停から西崎病院の行き帰り、大変助かっています。

3	3年前、脳出血で倒れ、左上肢に麻ヒが残り、高次能機能障害で運転が出来ない為、通勤手段として、どうしても糸ちゃんバスは、必要です。路線バスは、決まった時間に乗れない、仕事に間に合わない、待ち時間が長い。糸ちゃんバスを廃止した場合、私は、仕事を辞めなければならなくなる。
4	赤字運行だと思いますが、バス停を地区内に設置してあるので、高齢者の方々も病院やちょっとした買物に出掛けやすく、予約することによって、路線バスのように長時間待つことなく利用できるのが良いと思います。私の母も平日仕事で私達(子供達)が送迎できないので、よく利用して便利だと言っています。
5	30代の子持ちの私でも大変利用しやすく有難いのですが、高齢者のドライバーを減らすためにも、車が必要不可欠な糸満市内を網羅してくれているいとちゃんバス mini の収益率は今後周知の拡大とともに上昇すると思います。
6	西崎経由のバス本数が少ないので「いとちゃんバス」の運行は助かりました。空港までの運賃は、タクシー運賃との比較でもう少し高くしてもよいと思う。
7	我々高齢者や生活保護者は役所に行ったり買物や病院に行ったりするには¥5とか¥10とかお金を大切に使っているのがいとちゃんミニがなくなってしまうという事は直接生活にかかわってしまうので中止になることはやめて下さい。
8	我が集落は、高台の為、歩いての買い物、図書館、病院、役所、趣味のこと等、考えた時、miniバスとしての公共交通があると助かります。是非とも必要不可欠です。
9	①既存路線バス(糸満新里、玉泉洞糸満、南部循環、国吉)が補助対象(赤字)になっていることをはじめて知りました。「運行本数を減らす」よりは「必要な人が必要なときに利用できる」といちゃんminiを活用したほうがニーズに合うのでは？
10	いとちゃんminiが終了するのは困ります。継続するように検討して欲しい。病院への通院や買い物の為によく利用していました。利益だけを求めるのではなく利用する人が数名でも入れば、継続する事が住みやすい糸満市作りになると思います。

高齢者の事故防止のため

1	高齢者の交通事故が多発している。車がないと買物・病院等自由に行きたい所にいけないが由に無理して運転しているのが理由ではないでしょうか？交通不便地域及び広い範囲の路線(バス停)を増設し、同時に定時発着を実施して欲しい。長くて短かった実証実験「いとちゃんバス・いとちゃんミニ」ありがとう！お疲れさまでした。これからのご活躍を！
2	高齢者による車両運転事故の多さを考えたとき、公共交通の不便さの解消に努めるのは行政の責任ではないかと思えます。ただ運営費をおさえたり、何かしらの補助金を活用しなければ難しいことも理解しています。
4	イトちゃん運行中止について、現在年寄りの交通事故が多く、将来高齢者や認知症者は運転免許証の返還などと議論されている中、廃止は考えにくい、自分も返還などについて悩んでいます
5	ますます、高齢化していく糸満市にこれからもっと活用していくのではないのでしょうか。バスに乗るとい必要がなかった(自家用車あり)のですが、各地で高齢者の事故のニュースを聞くと免許証の自主返納(?)しても大丈夫な、いつまでもいきいき元気に過ごす町にしていけたらと思う。いとちゃんの事業を継続してほしいなと思えます。
6	いとちゃんバス・いとちゃんminiは貴重です。私は今年65才。運転免許証を通すかどうか悩んでいます。運転を続けるには覚悟と勇気が必要です。昨今の高齢者の事故を考えると。行政も免許返かんをすすめていくでしょう。それなのに「いとちゃん号」を中止したら、私は家ぐまいとなるでしょう。元気な老後の為にも続けてください。

環境負荷低減のため

1	将来環境に優しいモノレールを作ってください！温暖化防止の為サング白化現象を防ぐ。
2	いとちゃんバス⇒空港直行は少しずつ認知されつつあるのをやめるのは残念です。糸満在中の方は車の利用が減るのでは、、、

3-4 協力店舗（事業者）ヒアリング調査結果

本実験運行に協力して頂いた協力店舗を対象に、実験運行の効果や今後の運行について意向を把握するためヒアリング調査を実施した。

3-4-1 ヒアリング実施事業者一覧

ヒアリング調査を実施した協力店舗一覧を以下に示す。

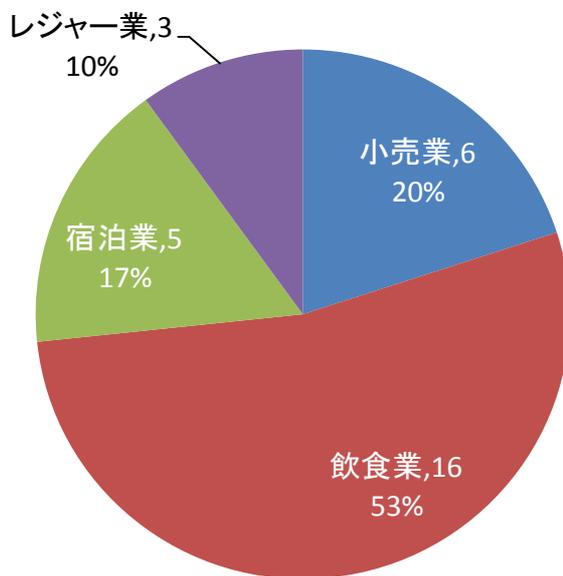
No.	協賛店舗名	No.	協賛店舗名
1	すば処いーばる家	16	ペンション南の楽園
2	レストランポモードロ	17	まちぐわーcafe`naminami
3	遊食来	18	ユーカリまえひら
4	喫茶グリーンパーム	19	民宿糸満ガリガリーおおしろ
5	和琉 Dining くらむとう	20	レストランぎやまん館
6	タプログラム専門店 レドンド	21	民宿うえだ荘
7	居酒屋廚(くりや)	22	優美堂
8	旨い焼肉 牛庵	23	レストラン月桃
9	倉ん家 KURANCHI	24	ひめゆり会館
10	味どころ田舎家	25	琉球ガラス村
11	焼肉ばんない	26	糸満観光農園
12	ゆっくい茶処 おおしろ	27	泡盛まさひろギャラリー
13	Cafe´ Bree Garden	28	ホテルスポーツロッジ糸満
14	平和祈念公園	29	美々ビーチいとまん
15	海ん道(海ぶどう農園のお店ぷちぷち)	30	サザンビーチホテル&リゾート沖縄

※No1～7 は新規協力店舗

3-4-2 ヒアリング調査結果

① 回答者属性（業種）

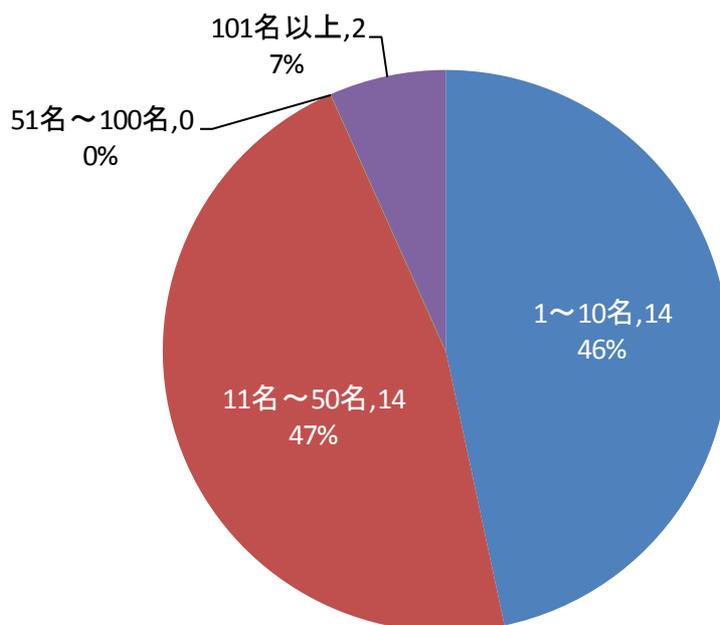
業種別では、「飲食業」が最も多く全体の53%を占めている。続いて「小売業」が20%、「宿泊業」が17%、「レジャー業」が10%であった。



N=30

② 回答者属性（従業員規模）

従業員規模では、「1~10名」と「11名~50名」で全体の93%を占めている。50名以上の大規模な事業者は、全体の7%であった。



N=30

③ 一人当たりの概算消費額

1人当たりの概算消費額を平均額で見ると、宿泊費が最も高く8,800円となっている。次いで「土産・買物」が1,829円、「飲食費」が1,481円、「娯楽・入場費」が1,425円という順になっている。

宿泊費	平均単価
	8,800円

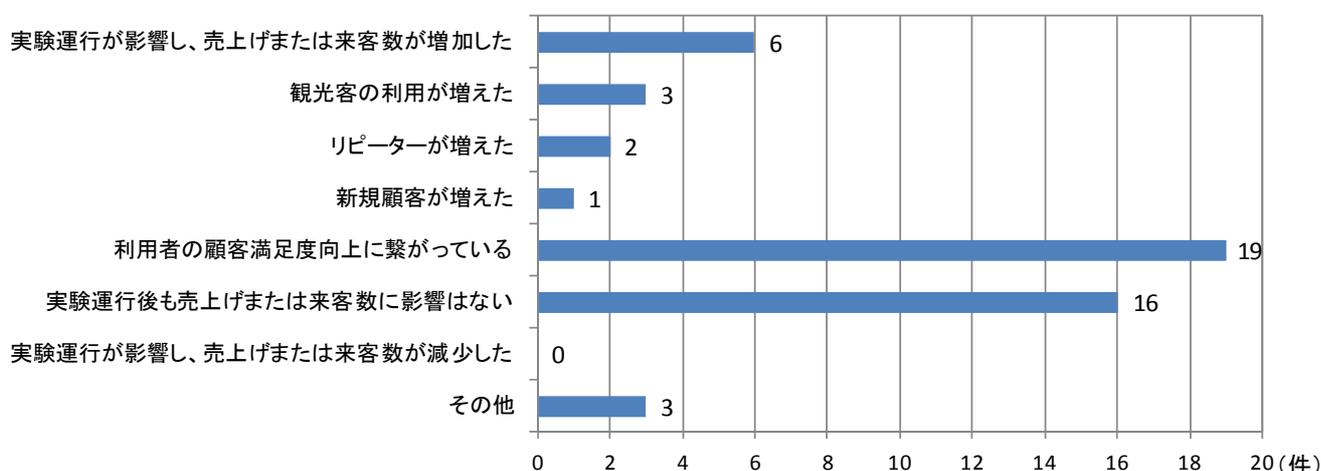
土産・買物	平均単価
	1,829円

飲食費	平均単価
	1,481円

娯楽・入場費	平均単価
	1,425円

④ 「いとちゃん mini」 運行による効果（複数回答可）

「いとちゃん mini」 運行による効果では、「実験運行が影響し、売上げまたは来客数が増加した」や「観光客の利用が増えた」、「リピーターが増えた」、「新規顧客が増えた」といった来客数等の増加があったと回答した事業者が見られた。「実験運行後も売上げまたは来客数に影響はない」と回答した事業者は16件あったが、「実験運行が影響し、売上げまたは来客数が減少した」と回答した事業者はなかった。



いとちゃん mini 運行による効果 (N=22、複数回答)

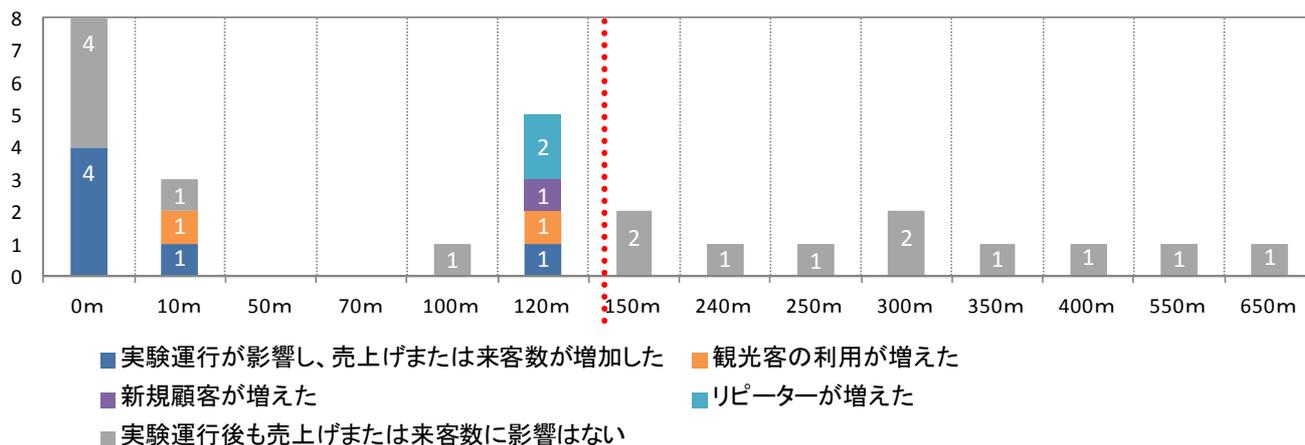
(参考) いとちゃん mini 運行におけるその他影響

1	高齢の父が移動手段として利用している
2	従業員の通勤手段として利用している
3	従業員が買物などで利用している

⑤ いとちゃん mini バス停からの距離による実験運行の効果

バス停（いとちゃん mini）の距離から見た運行による効果では、バス停までの距離が 120m までは来客数等が増加したという回答があるが、バス停までの距離が 120m を超えると来客数等が増加したという回答がなくなり、「運行開始後も売上げまたは来客数に影響はない」という回答が多くなっている。

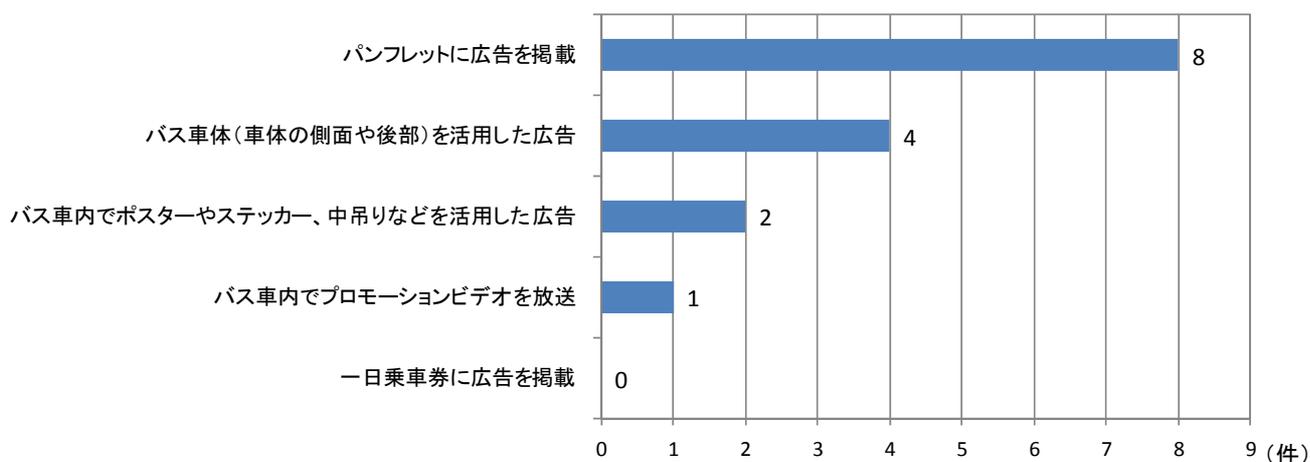
(件)



バス停距離からみた実験運行の効果

⑥ いとちゃん mini 車内広告について

いとちゃん mini が将来的に本格運行になった場合にどのような広告を希望しますかという質問では、「パンフレットに広告を掲載」が最も多かった。次に「バス車体（車体の側面や後部）を活用した広告」が多く、「バス車内でポスターやステッカー、中吊りなどを活用した広告」、「バス車内でプロモーションビデオを放送」という順になっている。



広告内容 (N=11、複数回答)

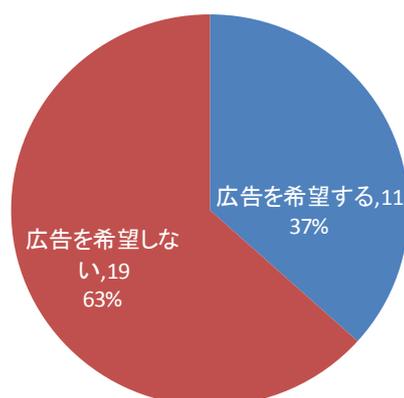
⑦ 広告費への支出可能な金額（円/年）

将来的に本格運行になった場合にどのような広告に広告費をどのくらい支払いますかという質問では、「パンフレットに広告を掲載」という広告に小売業と飲食業、宿泊業が最高で5,000円/年という金額を提示している。「バス車体（車体の側面や後部）を活用した広告」は宿泊業が10万円/年、小売業と飲食業が1万円/年の支払い意思があると回答している。

	バス車内でプロモーションビデオを放送	バス車内でポスターやステッカー、中吊りなどを活用した広告	バス車体（車体の側面や後部）を活用した広告	パンフレットに広告を掲載
小売業	5,000円/1件	5,000円/1件	1万円/1件	5,000円/2件
飲食業	なし	2,500円/1件	1万円/2件	5,000円/1件 2,500円/1件
宿泊業	なし	なし	10万円/1件	5,000円/1件 2,500円/2件
レジャー業	なし	なし	なし	なし

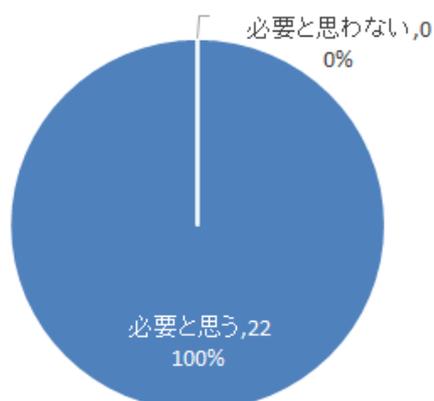
業種別にみた広告費の支払い意思額（複数回答）

（参考）広告活用の有無（N=30）



⑧ いとちゃん mini 運行の必要性

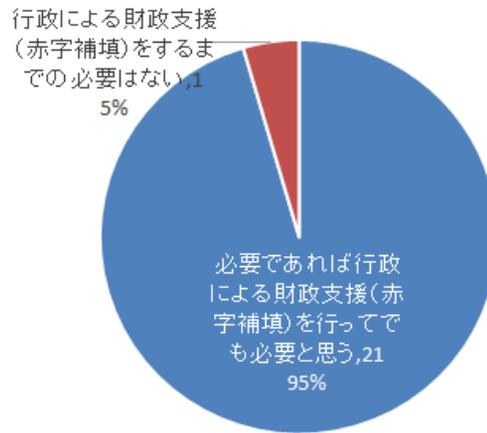
全事業者が今後もいとちゃん mini の運行が必要であると回答した。



いとちゃん mini の継続運行の必要性（N=22）

⑨ 財政支援も踏まえた運行の必要性

継続運行が必要であると回答した事業者の中で、「必要であれば行政による財政支援（赤字補填）を行ってでも必要と思う」と回答した割合は全体の95%であった。



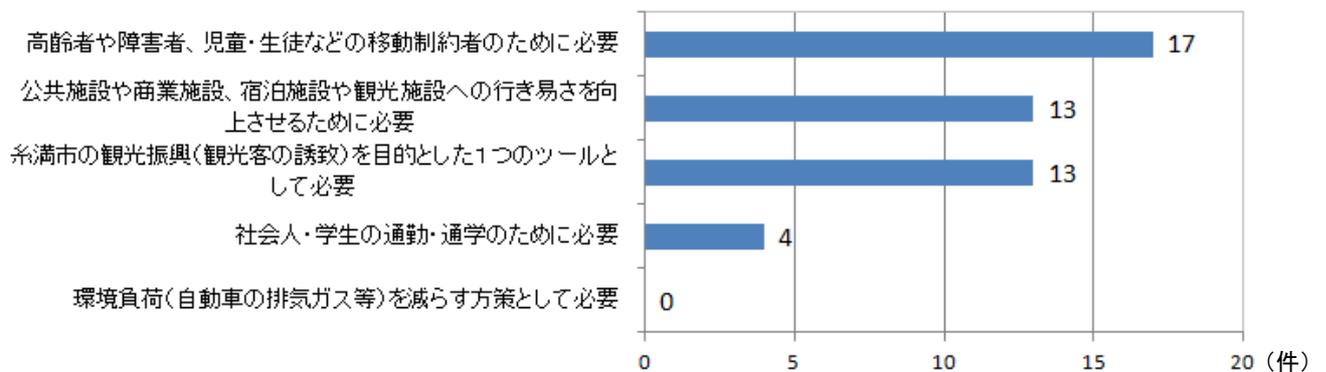
財政支援も踏まえた運行の必要性 (N=22)

(参考) 財政支援（赤字補填）をするまでの必要はない理由（1件/22件）

1	タクシーとの競合問題
---	------------

⑩ 継続運行が必要な理由（複数回答、N=21）

継続運行が必要な理由としては、以下のグラフのとおりであった。



⑪ 実験運行に対する自由意見 ※いとちゃんバス実証実験への意見も一部含む

自由意見として多かったのは、本格運行を希望する意見が多かった今後の課題については、路線の変更や告知・広報に関する意見があった。その他の意見としては、「いとちゃん mini はオペレーターがいるおかげで高齢者は利用しやすいと思う」という利用方法に関する意見があった。

(参考) 実験運行に対する自由意見

路線の変更	1	将来的には他市町村の観光施設へも行けるようになれば利用者も増えると思う。
	2	糸満市だけでなく他市町村にもルートを延ばした方がよい。
	3	mini で空港まで行けたらいい。いとちゃんバスよりもいとちゃん mini に重点を置くべきだと思う。
	4	いとちゃんバスを豊崎にも通せたら利用者は増えると思う。
	5	いとちゃん mini を残した方がよい。空港にもバス停を設置できたらいいと思う。
	6	あしびなーや玉泉洞まで行ける路線になれば、利用者は増えると思う。
告知・広報	7	お客様に紹介するからには苦情がでないように、各事業者への情報提供は十分にしてもらいたい。
	8	観光客や県民の方にもまだ知らない方もいたので告知を徹底してほしい。
	9	高齢者にとってはいとちゃん mini の利用方法はわかりにくいと思う。
	10	定期券があれば、より利用しやすくなると思う。定期券をクーポンの代わりにしても良いのでは。定期券提示で特典を提供など。
本格運行	11	お客様の満足度向上に繋がっているので、継続運行してほしい。特にいとちゃんバス。
	12	バス停が近いので、大変便利。今後も残してほしい。
	13	事業者としても是非、継続してもらいたい。
	14	今はまだ売り上げなどにも効果はでていないが、継続することで効果が出てくると思う。
	15	本格運行するのであれば、バス停の詳細位置がわかる資料をもらいたい。お客様への案内に必要
	16	継続運行してもらえればお客様にも案内しやすい。
	17	お客様の満足度向上に繋がっているので、是非とも継続運行してもらいたい。
	18	公共交通は1、2年では効果はでない。継続していくことで効果が出てくると思う。
	19	継続運行するのであれば、今後とも積極的に協力していきたい。
	20	公共交通の充実を図ることは必要。継続していかないと意味がない。
	21	バス停が近いのでお客様も利用しやすいと思う。また、最近の修学旅行生は、バスではなくタクシー利用が多いので、mini が本格運行されたら修学旅行生の利用も増えると思う。
	22	観光コースは今後も必要。
	23	タクシーの休憩所があるので、本格運行になる場合、タクシー会社との競合が不安要素である。
	24	事業者としてはいとちゃんバスの継続運行をしてもらいたい。糸満市の活性化には両方の継続が必要だと思う。
	25	現在はレンタカー利用客が多いため、公共交通の影響度は低い。しかし、継続して運行していくことで効果が表れると思う。
その他	26	いとちゃんバスもいとちゃん mini も利用したいというお客様が多くいた。
	27	実際に旅行に行く際に利用した。空港までの利用に便利だった。
	28	観光バスを利用のお客様は年々減ってきている。そのため、レンタカーやタクシー利用者にターゲットを変更している。
	29	いとちゃん mini はオペレーターがいるおかげで高齢者は利用しやすいと思う。
	30	お客様から利便性が上がったという声があった。
	31	糸満観光で mini を利用したいというお客様がいた。観光客の満足度向上に繋がっている。
	32	観光客の満足度向上に繋がれば良いと思う。
	33	観光ブックレットや飲食店を案内する場合、ハラルフード取扱い店舗を意味するステッカーなども必要になってくると思う。
	34	観光バスの利用料金が高騰したことにより、観光バスを利用した団体客は減少している。事業者としては、レンタカーやタクシー利用者などの少人数客を対象を切り替えている。

3-4 WEBサイトへのアクセス状況

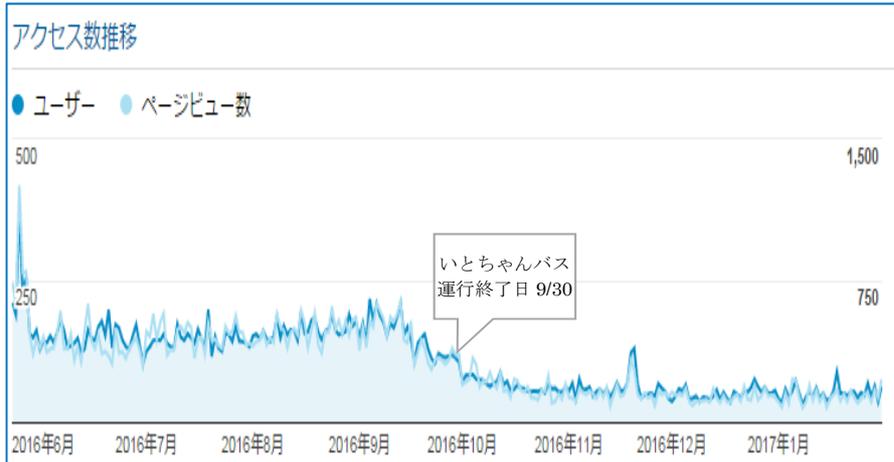
(集計期間：平成28年5月23日～平成29年1月31日)

訪問者数 (ユニークユーザー)
20,854
全体の割合: 99.88% (20,880)

1日平均約82人が訪問

閲覧ページ数 (ページビュー)
79,974
全体の割合: 99.65% (80,251)

1日平均約314ページ閲覧



参照元	ユーザー	ページビュー数
southernbeach-okinawa.com	4,376	12,127
tabirai.net	378	751
wifi-cloud.jp	378	1,008
ichimarine.com	353	1,370
bibibeach.com	347	1,814
city.itoman.lg.jp	323	1,524
himeyuri.or.jp	285	580
okinawa-itoman.jp	251	1,594
ryukyu-glass.co.jp	242	1,225
uchina-farm.jp	184	806

国	ユーザー	ページビュー数
Japan	19,654	76,691
United Kingdom	269	471
Taiwan	224	643
United States	192	381
Hong Kong	182	851
South Korea	134	414
China	59	92
※識別不可		
Germany	19	59
Iraq	19	19

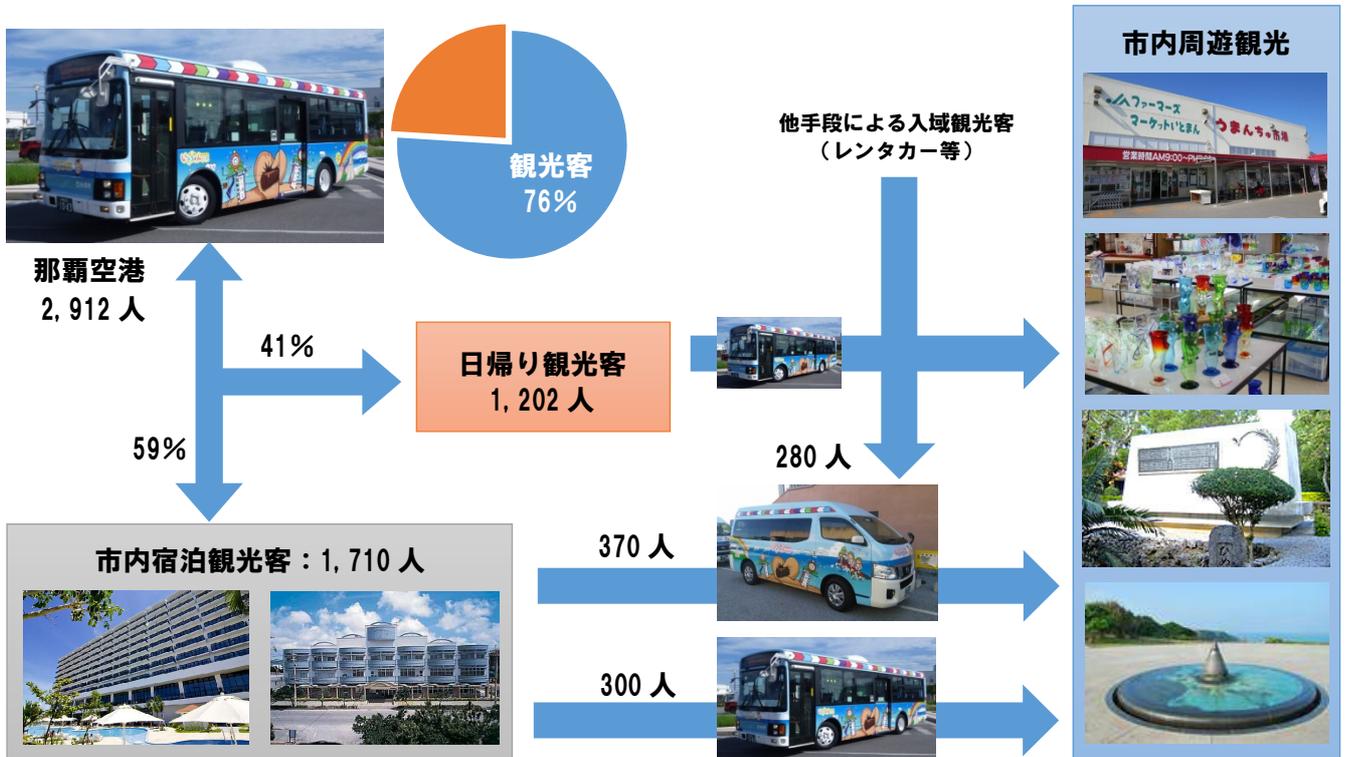
キーワード	セッション	新規セッション率
※識別不可		
いとちゃんバス	2,309	45.00%
糸ちゃんバス	152	55.92%
いとちゃんバス 時刻表	141	36.88%
糸満バス	129	55.81%
いとちゃん	117	40.17%
いとちゃんばす	109	35.78%
糸満バス	96	40.62%
いとちゃんmini	83	45.78%
糸満市バス	64	60.94%

ソーシャルネットワーク	セッション	ページビュー数
Facebook	285	862
Blogger	84	221
Twitter	30	77
Naver	13	23
Weebly	3	6

3-5 経済波及効果の試算

いとちゃんバスを利用して糸満市へ訪れた県外・外国人観光客数と宿泊者数を、8月・12月に実施したOD調査及びアンケート調査、運賃収入による推定乗車人数の結果等より推計し、観光コース利用者アンケートによって得られた糸満市内における1人あたりの平均消費額から観光客による消費額及び経済波及効果（1次波及効果）を推定した結果を整理する。

推計結果による入城観光客の行動イメージ図



1人あたり平均消費額 (観光コース利用者アンケート)	市内宿泊観光客消費額 1,710人	日帰り観光客者消費額 1,202人	
宿泊費(複数泊)	16,000円	27,360,000円	-
土産・買物	3,989円	6,821,190円	4,794,778円
飲食費	1,920円	13,132,800円	2,307,840円
娯楽・入場費	998円	1,706,580円	1,199,596円
交通費	1,679円	2,871,090円	2,018,158円
小計		51,891,660円	10,320,372円
消費額合計 = ①直接効果		62,212,032円	

経済波及効果分析
産業連関表※

観光客消費による ②1次波及効果
(自地域生産誘発額)
推定 約 7,400万円

【用語解説】

- ① 直接効果とは、新たに発生した消費によって、その需要をみたすために誘発された生産のこと。
- ② 1次波及効果とは直接効果に伴う原材料などの購入によって誘発される生産額を加えたもの。

※市民消費（運賃）、事業費（運行経費、ガイド人件費等）を含む場合の1次波及効果：推定 15,400万円
 ※経済産業省：平成17年地域間産業連関表 53部門簡易分析ツール（沖縄地区）を使用
 ※農林水産省：平成26年度（概算値）の都道府県別食料自給率：54%（沖縄地区）を使用
 （参考）入城観光客数の推定フロー

